総合計画市民アンケート報告書

平成 29 年 (2017 年) 9月 横 須 賀 市

はじめに

本市では、1997 年(平成9年)に長期的なまちづくりの目標として「国際海の手文化都市」を都市像とする「横須賀市基本構想」を定めました。また翌年の1998年(平成10年)には「横須賀市基本計画」をスタートさせました。

基本計画は市の最上位計画である総合計画の一部で、総合計画は「基本構想」、その期間をおおむね二分して施策の体系を示した「基本計画」、3年ごとの主要事業を示した「実施計画」の三つによって構成されています。

平成23年4月には、市の基本的な政策・施策の体系、政策の目標などを示した、新たな基本計画、実施計画が同時にスタートしました。この基本計画には、計画の着実な推進を図るため、定期的な進行管理を行っていくことが明記されています。

この度、進行管理を行うにあたり、「本市の魅力」や「政策・施策」などに対する、市民の皆さんの実感を伺うアンケート調査を実施しました(15歳以上の2,000人の方が対象)。 調査で得られた結果は、進行管理のほか、分野別計画などを策定する際の基礎資料として、十分に活用してまいります。

本調査にご協力いただきました皆さまには、厚くお礼申し上げます。

平成29年(2017年)9月

横須賀市都市政策研究所

内容と構成

本報告書は「政策形成編」と「基本計画進行管理編」で構成されている。

【政策形成編】

これまで本市では、基本計画、実施計画策定の前年に、重点的な取り組むべき施策等の 方向性をみいだすため、「まちづくり市民アンケート(政策・施策編)」「基本計画策定 のための市民アンケート」「総合計画市民アンケート」を実施してきた。

「政策形成編」は、これらアンケートの設問のうち、「横須賀のイメージ」「魅力」「重点的に取り組むべき政策」など、これまで経年的に調査してきた設問を中心に、新規設問なども加え、政策形成に必要となる市民意識に関する調査結果を述べている。

【基本計画進行管理編】

「横須賀市基本計画(2011~2021)」では計画の着実な推進を図るため、定期的な進行管理を行う旨が記載されている(「横須賀市基本計画」資料編 p138~142)。

進行管理の手法である「市民の実感(主観的要素)の把握」についてはアンケートによるものとしており、「基本計画進行管理編」は、各政策の進捗状況に対する市民意識に関する調査結果を述べている。

調査結果の見方

- 1. 回答率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%とならない場合がある。
- 2. 「基本計画進行管理編」は、アンケートの設問に対する回答者の傾向を観察するため、 DI (ディフュージョンインデックス 景気動向指数/拡散指数) の考え方を利用して いる。

プラスの回答ポイント - マイナスの回答ポイント = DI として記述している。 DI の算出にあたっては、「⑥わからない」と「無回答」を除いている。 ※DI とは、「良い/悪い」「上昇/下落」といった定性的な指標を数値化して得られた指数をいう。 マイナス 100 からプラス 100 の間を取る。

- ・「①感じる」+「②やや感じる」⇒プラスの回答ポイント
- ・「④あまり感じない」+「⑤感じない」⇒マイナスの回答ポイント
- ・DI がプラス … アンケート回答者の実感が、良好・改善の傾向にある
- ・DI がマイナス … アンケート回答者の実感が、良好でない・後退の傾向にある
- 3. 前回調査比較の図表は、平成23年3月と、平成25年1月実施の「総合計画市民アンケート」との比較である。

今回の調査とは、調査対象者数、回収数(率)は異なるが、比較した設問については 内容を同様にしている。

目 次

Ι.	調査目的及び実施方法等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1
	『形成編】 調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5
			J
Ⅲ.	集計結果		9
i	横須賀の魅力について		
	横須賀の魅力的なところ(問1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9	
ii	横須賀への愛着やイメージについて		
	1 横須賀への愛着(問2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11	
	2 横須賀の都市イメージ(問3)	12	
ii	i 公共交通の利便性について		
	1. 公共交通の利便性(問4)	15	
	2. 日常の買い物場所までの所要時間(問5)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17	
	3. 最寄りの鉄道駅やバス停までの所要時間(問6)	19	
iv	,地域活動への参加状況について		
	地域活動への参加、参画状況(問7)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20	
٧	基地について		
	1. 米軍基地に対する考え(問8)	25	
	2. 自衛隊基地に対する考え (問9)	31	
V	i 政策の優先度や市役所サービスへの満足度について		
	1. 日々の暮らしにかかわる市役所サービスに対する満足度(問10)…	37	
	2. 市民相談について (問 11)	38	
	3. 政策の優先度 (問 12)	39	

【基本計画進行管理編】	
-------------	--

Ⅳ. 集計結果 · · · · · · · · 49	
vii 市の政策に対する実感について	
市の政策に対する実感(問 13) … 49	
V. 基本的な属性 (F1~F6) ·······67	
市民アンケート調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70	

I. 調査目的及び実施方法等

1. 調査目的

「国際海の手文化都市」の実現に向け、基本計画、実施計画の着実な推進を図るため、政策形成に必要な市民意識および計画の進行管理の評価基準となる市民の実感を 把握する。

2. 調査項目

設問番号	項目
問1	横須賀の魅力的なところ
問 2	横須賀への愛着
問3	横須賀の都市イメージ (現在のイメージ/望ましいイメージ)
問 4	市内の公共交通の利便性
問 5	日常の買い物場所までの徒歩での所要時間
問 6	最寄りの公共交通機関までの所要時間
問 7	地域活動への参加、参画状況
問7-1	参加している活動の内容
問7-2	今後の参加意向とその理由
問8	米軍基地に対する考え
問8-1	米軍基地があった方がよい理由
問8-2	米軍基地がない方がよい理由
問 9	自衛隊基地に対する考え
問 9 - 1	自衛隊基地があった方がよい理由
問 9 - 2	自衛隊基地がない方がよい理由
問 10	市民サービスに対する満足度
問 11	日常生活の困りごとなどの相談する場所としての市役所の利用しやすさ
問 12	政策の優先度
問 13	市の政策に対する実感(まちづくり政策の目標/まちづくりの推進姿勢)

<基本的な属性>

F 1 性別 / F 2 年齢 / F 3 居住地域 / F 4 職業 / F 5 世帯の状況 F 6 市内居住年数

3. 調査対象及び回収数

調査対象:横須賀市に在住の15歳以上80歳未満の市民2,000人 (平成29年1月1日現在;住民基本台帳から無作為抽出)

回収数	回収率	前回(平成25年1月)比
843 件	42.2%	5.1 ポイント減

4. 実施方法

メール便による発送及び郵送による回収

5. 実施時期

平成 29 年 (2017 年) 1月 24 日 ~ 2月 14 日 *発送日-投函締切日

6. 調査企画·分析

横須賀市都市政策研究所で実施

-	3	-
---	---	---

政策形成編

Ⅱ.調査結果の概要

注)【新規設問】今回のアンケートで新たに設定したもの

1. 横須賀の魅力的なところ(問1) ※複数回答3項目まで

・8割以上の回答者が本市の魅力として「海や緑などの自然環境に恵まれている」を選択した。

2. 横須賀への愛着(問2)

・「感じる」「やや感じている」を合わせると、8割近くの回答者が、本市への愛着を感じているという結果となった。

3. 横須賀の都市イメージ(問3) ※複数回答3項目まで

・【現在の都市イメージ】

9割以上の回答者が「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」を選択した。

・【望ましい都市イメージ】

「高齢者・障害者をはじめとした『誰もが安心して暮らせるまち』」、「防犯・防災体制が整った『安全・安心なまち』」が多く選択された。

4. 市内の公共交通の利便性(問4)

- ・回答者の8割近くが「鉄道」に利便性を感じており、ほかの公共交通に比べて回答割合が高かった。
- ・「バス」について、6割以上の回答者が利便性を感じているものの、「やや感じている」 の割合が多い。
- 「タクシー」について、利便性を感じている回答者は半分に満たない状況。

5. 日常の買い物場所までの徒歩での所要時間(問5) 【新規設問】

- ・5割以上の回答者が、実際の所要時間として15分以内を選択した。
- ・7割以上の回答者が、許容範囲として15分以内を選択した。

6. 最寄りの公共交通機関までの徒歩での所要時間(問6) 【新規設問】

・ 9 割近くの回答者が、許容範囲として「15分以内」を選択した。

7. 地域活動への参加、参画状況(問7)

- ・地域活動に「参加、参画している」と回答した人は、回答者の2割を下回った。
- ・地域活動の参加内容として、8割近くの回答者が「地域のまちづくり活動(町内会役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など)」を選択した。(複数回答)
- ・これまで地域活動への参加経験がない回答者のうち、今後の参加、参画意向のある人は 3割弱で、希望する地域活動としては、「自主的なボランティア活動(福祉や国際交流、 環境美化、助け合い活動など)」を選択した回答者が多かった。(複数回答)
- ・「今後も参加、参画したいと思わない」を選択した回答者の理由として、6割弱の回答者が「興味はあるが、時間的余裕がない」「興味はあるが、きっかけや情報がない」を選択した。

※地域活動:「地域のまちづくり活動」「ボランティア活動」「NPO活動」など

8. 米軍基地に対する考え(問8)

- ・「やむを得ない」を選択した回答者が半数を超え、「あった方がよい」を選択した回答 者は3割を下回った。「ない方がよい」についても、前回調査から減少した。
- ・「あった方がよい」とする回答者のうち4割以上が、理由として日本の安全上必要であることを挙げている。
- ・「ない方がよい」とする回答者のうち約4割が、犯罪や事故が心配であることを理由と して挙げている。

9. 自衛隊基地に対する考え(問9)

- ・「あった方がよい」を選択した回答者は、5割を下回ったが「ない方がよい」を大きく 上回った。
- ・「あった方がよい」を選択した回答者の5割以上が、理由として日本の安全上必要であることを挙げている。
- ・「ない方がよい」を選択した回答者の3割以上が、理由として戦争の危険に巻き込まれるおそれがあることを挙げている。

10. 市民サービスに対する満足度(問 10)

・市役所のサービスについて、回答者の半数近くが「満足している」「ほぼ満足している」 を選択した。その割合は増加傾向にある。

11. 日常生活の困りごとなどの相談する場所としての市役所の利用しやすさ(問 11)

- ・「(利用しやすいと) 思う」「やや思う」の肯定的な回答の合計割合は全体の約3割で、 これまでの調査とほぼ同様の傾向。
- ・一方で「(利用しやすいと) 思わない」「あまり思わない」の否定的な回答の合計割合も3割近くに上る。

12. 政策の優先度(問12) ※複数回答3項目

- ・重点的に取り組むべき政策の選択順位別の状況をみると「地域経済の振興と雇用の安定」のほか、今回新たに設問として加えた「定住の促進」「観光施策の充実による集客の促進」に対する関心の高さがうかがえる。
- ・これらに加え「子育て支援の充実」や「高齢者福祉」などが、重点的に取り組むべき 政策として捉えられている状況が見てとれる。

-	8	-
---	---	---

Ⅲ. 集計結果

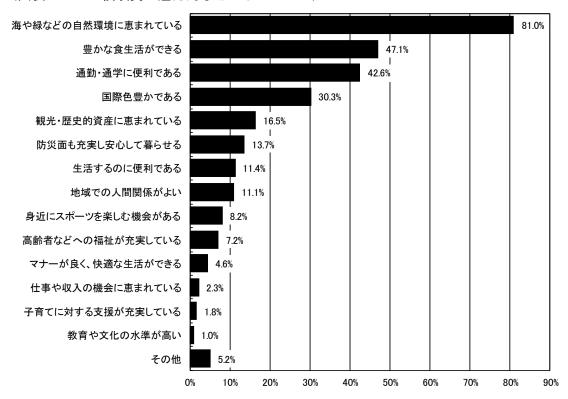
i. 横須賀の魅力について

問1 **あ**なたにとって横須賀の魅力的なところとは、どのようなところだと思いますか。 (あてはまるものを順に3つまで選択)

本市の魅力として8割以上の回答者が「海や緑などの自然環境に恵まれている」 を選択した。(複数回答)

- ・「海や緑などの自然環境に恵まれている」が 81.0%と最も多く、次いで、「魚介類・農産 物などが新鮮で、豊かな食生活ができる」(47.1%)、「大都市に近く、通勤・通学に便利 である」(42.6%) などが多く挙げられている。
- ・上位の3項目については過去の調査と変化がなく、その他の項目についても選択順位に 大きな変化はみられないが、今回の調査では、「犯罪が少なく防災面も充実していて安心 して暮らせる」が、横須賀の魅力的なところとして上位に選択された。

(図表 i - 1 横須賀の魅力的なところ n=831)



(図表 i - 2 横須賀の魅力的なところ 前回調査比較)

順位	平成29年1月調査(r	n=831)	平成25年1月調査(r	n=930)	平成23年3月調査(n=901)		
順位	回答項目	割合(%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	
1	海や緑などの自然環境 に恵まれている	81. 0	海や緑などの自然環境 に恵まれている	83. 4	海や緑などの自然環境 に恵まれている	82. 6	
2	魚介類・農産物などが新 鮮で、豊かな食生活がで きる	47. 1	魚介類・農産物などが新 鮮で、豊かな食生活がで きる	45. 2	魚介類・農産物などが 新鮮で、豊かな食生活 ができる		
3	大都市に近く、通勤・ 通学に便利である	42. 6	大都市に近く、通勤・ 通学に便利である	43. 7	大都市に近く、通勤・通 学に便利である	43. 8	

横須賀の魅力の項目		9年1月 831)		平成25年1月 平成23年3月 (n=930) (n=901)			前回比	前々回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	29-25	29-23
海や緑などの自然環境に恵まれている	1	81.0	1	83. 4	1	82. 6	▲ 2.4	▲ 1.6
魚貝類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活が できる	2	47. 1	2	45. 2	2	44. 8	1.9	2. 3
大都市に近く、通勤・通学に便利である	3	42. 6	3	43. 7	3	43. 8	▲ 1.1	▲ 0.1
国際色豊かである	4	30. 3	4	22. 9	4	23. 1	7. 4	7. 2
観光資源や歴史的資産に恵まれている	5	16. 5	5	18. 2	6	16. 2	▲ 1.7	0.3
犯罪が少なく、防災面も充実していて安心して 暮らせる	6	13. 7	9	9. 0	7	12. 8	4. 7	▲ 3.8
道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である	7	11.4	6	16.8	5	20. 3	▲ 5.4	▲ 8.9
地域での人間関係がとてもよい	8	11.1	7	12. 8	8	10.8	▲ 1.7	2. 0
身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機 会に恵まれている	9	8. 2	8	12. 0	9	8. 4	▲ 3.8	▲ 0.2
高齢者、障害者などへの福祉が充実している	10	7. 2	10	7. 4	10	6. 1	▲ 0.2	1.1
市民のマナーが良く、快適な生活ができる	11	4. 6	11	3. 2	11	3.8	1.4	0.8
仕事や収入の機会に恵まれている	12	2. 3	13	2. 2	12	3. 1	0.1	▲ 0.8
子育てに対する支援が充実している	13	1.8	12	3. 0	14	1.4	▲ 1.2	0. 4
教育や文化の水準が高い	14	1.0	14	1.0	13	1.7	0.0	▲ 0.7
その他	_	5. 2	_	3. 7	_	3. 1	1. 5	2. 1

ii. 横須賀への愛着やイメージについて

ii − 1 横須賀への愛着

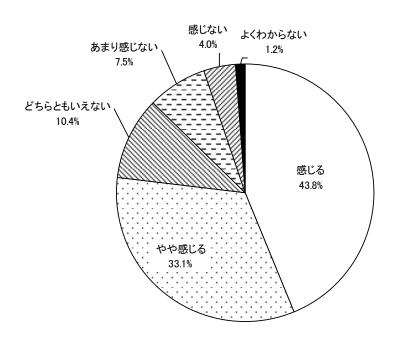
問2 あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じますか。

(あてはまるものを1つ選択)

回答者の8割近くが、横須賀市に愛着を感じている。

(「感じる(43.8%)」「やや感じる(33.1%)」の合算)

(図表 ii - 1 横須賀への愛着 n=835)



(図表 ii - 2 横須賀への愛着 前回調査比較)

					[回答項目・	割合(%)			
調査	時期	件数 (人)	①感じて いる	②やや感 じている	③どちら ともいえ ない	④あまり 感じてい ない	⑤感じて いない	⑥よくわ からない	1)+2	4+5
平成29年	年 1 月	835	43. 8	33. 1	10. 4	7. 5	4. 0	1. 2	76. 9	11.5
平成25年	年 1 月	939	47. 8	33. 5	10. 6	4. 5	2. 3	1. 2	81.3	6. 8
平成23年	年3月	910	46. 6	31. 1	13. 2	5. 7	1.8	1. 6	77.7	7. 5

ii-2 横須賀の都市イメージ

問3 あなたが考える横須賀市の「現在の都市イメージ」と「望ましい都市イメージ」 をそれぞれ記入してください。(あてはまるものを順に3つまで選択)

(1) 現在の都市イメージ

現在の都市イメージとして、9割以上の回答者が「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」を選択した。(複数回答)

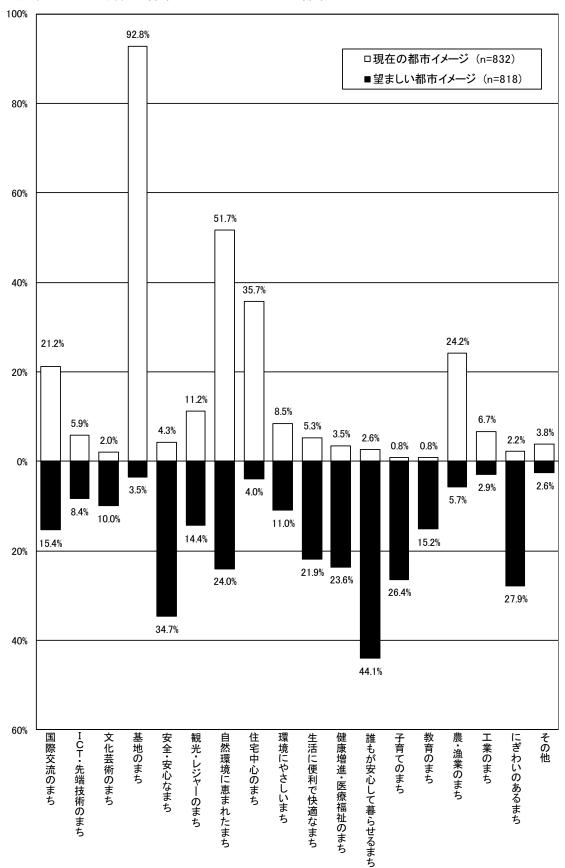
- ・「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」が92.8%で、突出している。次いで「豊かな自然が残されている『自然環境に恵まれたまち』」(51.7%)、「首都圏への通勤者が多い『住宅中心のまち』」(35.7%)の順に選択された。
- ・上位の項目、回答割合については、これまでの調査と同様の傾向が示されている。

(2)望ましい都市イメージ

望ましい都市イメージとして、「高齢者・障害者をはじめとした『誰もが安心して 暮らせるまち』」、「防犯・防災体制が整った『安全・安心なまち』」を選択した回答 者が多かった。(複数回答)

- ・これまでの調査結果と同様、「高齢者・障害者をはじめとした『誰もが安心して暮らせるまち』」(44.1%)、「防犯・防災体制が整った『安全・安心なまち』」(34.7%)が、高い回答割合となった。
- ・前回調査では、3番目に高い回答割合であった「健康づくりのための施設や医療機関が 充実した『健康増進・医療福祉のまち』」が、今回調査では6番目に下がった。
 - 一方で、「保育所など子育て環境が充実した『子育てのまち』」が順位、回答割合ともに 上昇した。

(図表 ii - 3 現在の都市イメージと望ましい都市イメージ)



(図表 ii - 4 現在の都市イメージと望ましい都市イメージ 前回調査比較)

現在の都市イメージの項目		9年1月 :832)	. ,,,,	5年1月 925)	平成23年3月 (n=892)		前回比	前々回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	29-25	29-23
米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」	1	92. 8	1	88. 6	1	91.3	4. 2	1.5
豊かな自然が残されている「自然環境に恵まれ たまち」	2	51.7	2	49. 4	2	46. 7	2. 3	5. 0
首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」	3	35. 7	3	38. 9	3	38. 8	▲ 3.2	▲ 3.1
農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」	4	24. 2	4	22. 9	4	18. 8	1. 3	5. 4
外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」	5	21. 2	5	17. 4	5	18. 7	3. 8	2. 5
市外から多くの人が訪れる「観光・レジャーのまち」	6	11. 2	6	11. 7	7	10. 4	▲ 0.5	0.8
ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境 にやさしいまち」	7	8. 5	9	8. 5	9	8. 1	0.0	0.4
自動車産業などが盛んな「工業のまち」	8	6. 7	10	7. 5	10	7. 4	▲ 0.8	▲ 0.7
さまざまな分野の研究機関が集積する「IC T・先端技術のまち」	9	5. 9	7	10.8	6	12. 3	▲ 4.9	▲ 6.4
道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利 で快適なまち」	10	5. 3	8	9. 3	8	10.0	▲ 4.0	▲ 4.7
防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」	11	4. 3	12	3. 5	11	4. 7	0.8	▲ 0.4
健康づくりのための施設や医療機関が充実した 「健康増進・医療福祉のまち」	12	3. 5	12	3. 5	13	2. 6	0.0	0. 9
高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心し て暮らせるまち」	13	2. 6	14	3. 4	12	3. 0	▲ 0.8	▲ 0.4
商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」	14	2. 2	15	1.5	15	1.9	0. 7	0.3
芸術文化活動が盛んな「文化芸術のまち」	15	2. 0	11	4. 1	13	2. 6	▲ 2.1	▲ 0.6
保育所など子育て環境が充実した「子育てのま ち」	16	0.8	16	1.4	17	0. 7	▲ 0.6	0. 1
学校教育が充実した「教育のまち」	16	0. 8	17	1.0	16	1.0	▲ 0.2	▲ 0.2
その他	_	3. 8	_	1.8	-	1.6	2. 0	2. 2

望ましい都市イメージの項目		9年1月 818)		5年1月 885)		8年3月 852)	1	
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	29-25	29-23
高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心し て暮らせるまち」	1	44. 1	1	40. 9	1	43. 8	3. 2	0.3
防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」	2	34. 7	2	38. 5	2	38. 1	▲ 3.8	▲ 3.4
商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」	3	27. 9	4	26. 3	6	20. 3	1.6	7. 6
保育所など子育て環境が充実した「子育てのま ち」	4	26. 4	6	22. 1	5	21. 7	4. 3	4. 7
豊かな自然環境が残されている「自然環境に恵 まれたまち」	5	24. 0	5	25. 0	4	27. 0	▲ 1.0	▲ 3.0
健康づくりのための施設や医療機関が充実した「健康増進・医療福祉のまち」	6	23. 6	3	29. 5	3	29. 3	▲ 5.9	▲ 5.7
道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利 で快適なまち」	7	21.9	7	20. 3	7	19.8	1.6	2. 1
外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」	8	15. 4	13	10. 6	10	12. 3	4. 8	3. 1
学校教育が充実した「教育のまち」	9	15. 2	9	14. 1	9	14. 4	1.1	0.8
市外から多くの人が訪れる「観光・レジャーのまち」	10	14. 4	10	12. 4	11	10. 6	2. 0	3. 8
ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境 にやさしいまち」	11	11.0	8	14. 9	8	15. 5	▲ 3.9	▲ 4.5
芸術文化活動が盛んな「文化芸術のまち」	12	10.0	11	11.6	12	10. 1	▲ 1.6	▲ 0.1
さまざまな分野の研究機関が集積する「IC T・先端技術のまち」	13	8. 4	12	10.8	13	9. 7	▲ 2.4	▲ 1.3
農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」	14	5. 7	14	6. 3	14	8. 6	▲ 0.6	▲ 2.9
首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」	15	4. 0	16	3. 1	17	2. 2	0.9	1.8
米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」	16	3. 5	17	2. 7	15	4. 1	0.8	▲ 0.6
自動車産業などが盛んな「工業のまち」	17	2. 9	15	3. 3	16	4. 0	▲ 0.4	▲ 1.1
その他	_	2. 6	_	1.4	_	1.9	1. 2	0. 7

iii. 公共交通の利便性について

iii - 1 公共交通の利便性

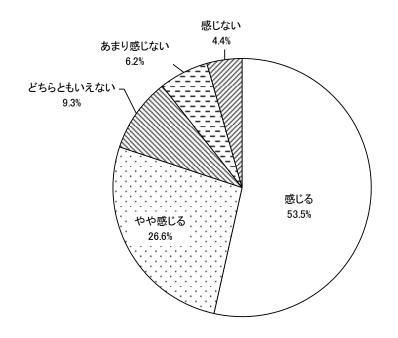
問4 市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー)の利便性について、どう感じますか。 (あてはまるものを1つ選択)

回答者の8割近くが「鉄道」に対して利便性を感じており、他の公共交通に比べて 回答割合が高い。

- ・「鉄道」については、回答者の8割が利便性を感じている。 (「感じる」(53.5%)、「やや感じている」(26.6%)の合算)
- ・「バス」については、回答者の6割以上が利便性を感じている状況にあるが、選択項目と して「やや感じている」の割合が高い。
- ・「タクシー」については、利便性を感じている回答者は半数に満たない状況にある。

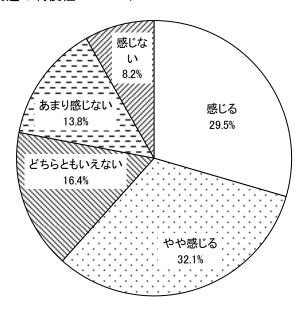
(1) 利便性に対する実感「鉄道」

(図表iii-1 公共交通の利便性 n=841)



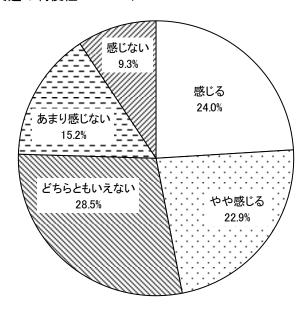
(2) 利便性に対する実感「バス」

(図表iii-2 公共交通の利便性 n=841)



(3) 利便性に対する実感「タクシー」

(図表iii-3 公共交通の利便性 n=841)



(図表iii-4 公共交通の利便性)

				回答項目	·割合 (%)			
公共交通	件数 (人)	①感じる	②やや 感じる	③あまり 感じない	④感じない	⑤どちらとも いえない	1)+2)	3+4
鉄道	841	53. 5	26. 6	6. 2	4. 4	9. 3	80. 1	10. 6
バス	841	29. 5	32. 1	13. 8	8. 2	16. 4	61.6	22. 0
タクシー	841	24. 0	22. 9	15. 2	9. 3	28. 5	46. 9	24. 5

iii-2 日常の買い物場所までの所要時間 【新規設問】

問5 あなたが自宅から日常の買い物をする場所へ徒歩で行く場合の所要時間について、 それぞれあてはまるものを選んでください。(1つ選択)

(1) 現在何分程度かかりますか。

5割以上の回答者が、実際の所要時間として「5分~10分」「10分~15分」を 選択した。

- 「5分~10分」を選択した回答者が、27.0%で最も多かった。
- ・一方で20分以上を選択した回答者も2割近くで、少なくはない状況。

(2) 何分程度までであれば許容できますか。

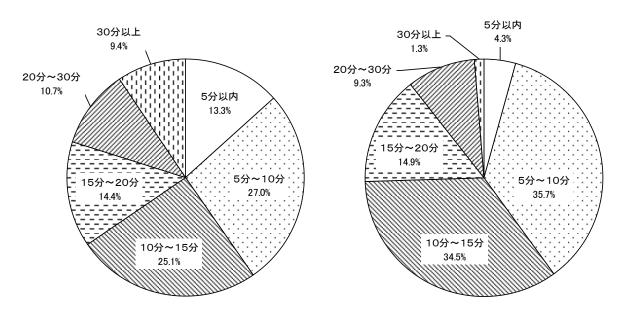
7割以上の回答者が、許容範囲として「5分~10分」「10分~15分」ならば 許容できると回答した。

- ・許容範囲として、「15分以内」を選択した回答者が、7割を超える。
- ・許容範囲として「30 分以上」を選択した回答者はほとんどみられないが、実際には1割 程度が存在している。

(図表iii-5 日常の買い物場所までの所要時間)

(1) 所要時間 n = 840

(2) 許容時間 n =838



(図表iii-6 日常の買い物場所までの所要時間)

	件数(人)	回答項目・割合(%)							
調査時期		①5分以内	②5分~ 10分	③10分~ 15分	④15分~ 20分	⑤20分~ 30分	⑥30分以上		
実際の所要時間	840	13. 3	27. 0	25. 1	14. 4	10. 7	9. 4		
許容範囲	838	4. 3	35. 7	34. 5	14. 9	9. 3	1.3		

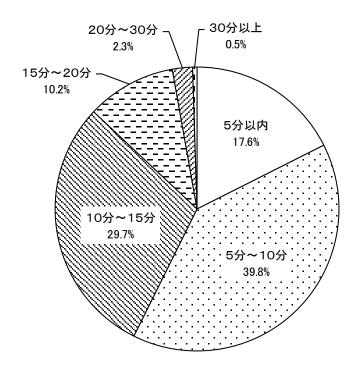
iii-3 最寄りの鉄道駅やバス停までの所要時間

問 6 あなたが住居を決める際、最寄りの鉄道駅やバス停までの徒歩での所要時間の許容範囲は何分ですか。(一つ選択)

許容範囲として「10分以内」を選択した回答者が6割近くを占める。 (「5分以内」(17.6%)、「5分~10分以内」(39.8%)の合算」)

・回答者の9割近くが、許容範囲として「15分以内」を選択、6割近くが10分以内を選択した。

(図表iii-7 最寄りの鉄道駅やバス停までの所要時間 n=835)



iv. 地域活動への参加状況について

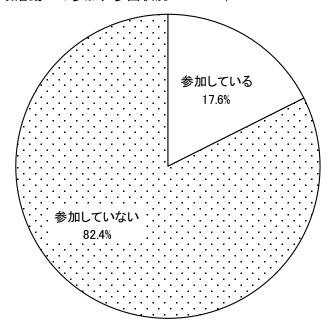
iv-1 地域活動への参加、参画状況

問7 あなたは、地域のまちづくり活動やボランティア活動、NPO活動に参加、参画 していますか。(あてはまるものを1つ選択)

地域活動に「参加、参画していると回答した人は2割を下回った。

・今回調査で、地域活動に「参加、参画している」と回答した人は 17.6%で、前回調査から約9ポイント減少し、これまでの調査で初めて2割を下回った。

(図表iv-1 地域活動への参加、参画状況 n=839)



(図表iv-2 地域活動への参加、参画状況 前回調査比較)

	件数	回答項目・割合(%)			
調査時期	(人)	参加、参画している	参加、参画していない		
平成29年1月	839	17.6	82. 4		
平成25年1月	931	26. 5	73. 5		
平成23年3月	903	22. 9	77. 1		

iv-1-(1) 地域活動への参加、参画状況(参加した活動の内容)

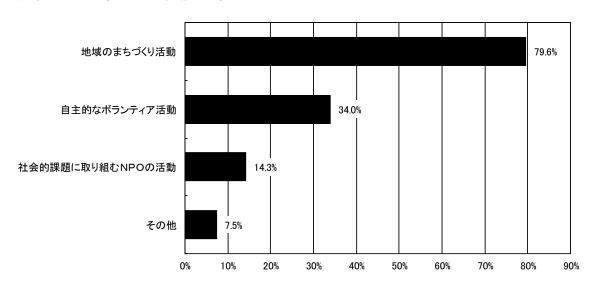
問7-1 あなたが参加、参画しているのはどのような活動ですか。

(あてはまるものをすべて選択)

地域活動の参加内容として、8割の回答者が「地域のまちづくり活動(町内会の役員、 地域のクリーン活動や防災・防犯活動など)」を選択した。(複数回答)

・4つの選択肢の中では「地域のまちづくり活動」が突出している。次いで「自主的なボランティア活動」が多い。

(図表iv-3 参加した活動の内容 n=147)



(図表iv-4 参加した活動の内容)

			回答項目・割	合(%)				
調査時期	件数 (人)	地域のまちづくり活動	自主的な ボランティア活動	社会的課題の解決に 向けて取り組むNPO の活動	その他			
平成29年1月	147	79. 6	34. 0	14. 3	7. 5			

(参考) 平成 23・25 年度調査 参加した活動の内容

		回答項目・割合(%)						
調査時期(人)		地域のまちづくり活動		新たな社会的課題の 解決に向けて取り組 むNPOの運営	市の呼びかけた 市民参加型事業	その他		
平成25年1月	238	79. 8	29. 8	8. 4	12. 2	9. 2		
平成23年3月	199	85. 4	22. 1	8. 0	14. 6	5. 0		

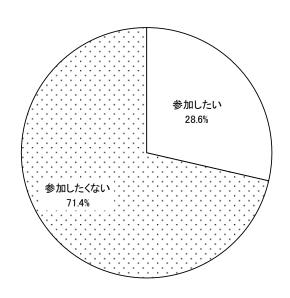
iv - 1 - (2) 地域活動への参加、参画状況 (参加経験がない人の今後の参加意向) 問7-2 今後、これらの活動に参加、参画したいと思いますか。

(はい/いいえのいずれか1つを選択)

これまで地域活動への参加経験がない回答者のうち、今後、参加、参画したい人 (「はい」を選択した人) は3割弱となった。

・これまで地域活動への参加経験がない回答者のうち、今後、参加、参画したいと考えている人の割合は28.6%で、これまでの調査結果と大きな変化はみられない。

(図表iv-5 参加経験がない回答者の今後の参加意向の有無 n=632)



(図表iv-6 参加経験がない回答者の今後の参加意向 前回調査比較)

	件数	回答項目·割合(%)				
調査時期	(人)	参加、参画したいと思う	参加、参画したいと思わない			
平成29年1月	632	28. 6	71. 4			
平成25年1月	631	28. 2	71.8			
平成23年3月	652	33. 3	66. 7			

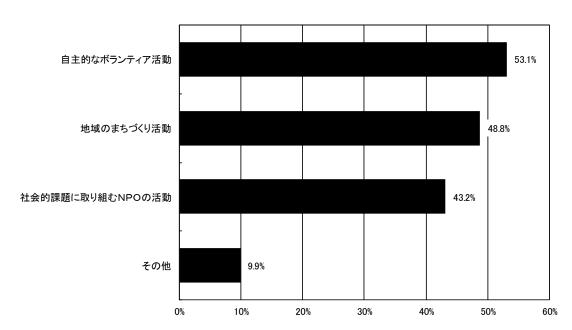
iv-1-(3) 地域活動への参加、参画状況 (<u>今後の参加意向がある人の</u>参加したい活動内容)

問**7-2(1) それはどのような活動ですか**。(あてはまるものをすべて選択)

参加経験がない回答者が今後、参加、参画したい地域活動として、「自主的なボランティア活動(福祉や国際交流、環境美化、助け合い活動など)」が最も多く選択された。(複数回答)

・今後参加したい活動として、「地域のまちづくり活動」よりも「自主的なボランティア活動」が多く選択された。

(図表iv-7 参加経験がない回答者が今後参加したい活動 n=162)



(図表iv-8 参加経験がない回答者が今後参加したい活動)

		回答項目・割合(%)					
調査時期	件数 (人)	地域のまちづくり活動	自主的な ボランティア活動	社会的課題の解決に 向けて取り組むNPO の活動	その他		
平成29年1月	162	48. 8	53. 1	43. 2	9. 9		

(参考) 平成 23・25 年度調査 参加経験がない回答者が今後参加したい活動

	件数(人)		回答	答項目・割合(%)					
調査時期		地域のまちづくり活動	ボランティア活動	新たな社会的課題の 解決に向けて取り組 むNPOの運営	市が呼びかけた 市民参加型事業	その他			
平成25年1月	147	44. 2	47. 6	35. 4	44. 2	8. 2			
平成23年3月	191	49. 2	44. 0	30. 4	39. 8	6.3			

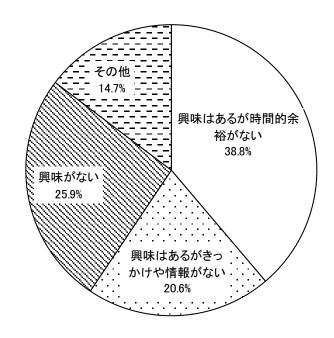
iv-1-(4) 地域活動への参加、参画状況 (今後の参加意向がない人のその理由)

問7-2(2) それはなぜですか。(考えに近いものを1つ選択)

6割近くの回答者が「興味はあるが、時間的余裕がない」「興味はあるが、きっかけや情報がない」を選択し、これまでの調査結果と同様に地域活動に関心は抱いているものの参加には結びついていない状況がうかがえる。

- ・今回調査で、「興味はあるが、時間的余裕がない」「興味はあるが、きっかけや情報がない」の合計割合は6割近くを占めている。
- ・これまでの調査結果をみると「興味がない」を選択した回答者の割合に増加傾向がみられる。

(図表iv-9 参加経験がない回答者が今後も参加したいと思わない理由 n=428)



(図表iv-10 参加経験がない回答者が今後も参加したいと思わない理由 前回調査比較)

			回答項目・割合(%)							
調査時期(人)		①興味はあるが、 時間的余裕がない	②興味はあるが、 きっかけや情報がない	③興味がない	④その他	1)+2)				
平成29年1月	428	38.8	20.6	25. 9	14.7	59.4				
平成25年1月	396	42. 2	20. 2	24. 2	13. 4	62. 4				
平成23年3月	415	43. 4	25. 8	17. 8	13. 0	69. 2				

v. 基地について

v-1 米軍基地に対する考え

問8 横須賀市内にある米軍基地について、どのようにお考えですか。

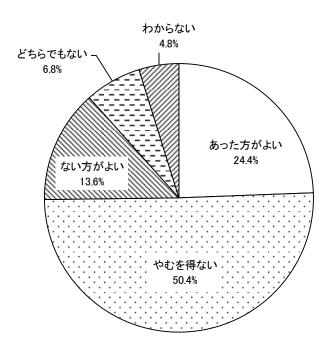
(考えに近いものを1つ選択)

※前回調査時と選択肢の順序が異なる

米軍基地について「やむを得ない」を選択した回答者が半数で、「あった方がよい」を 選択した回答者は3割を下回った。

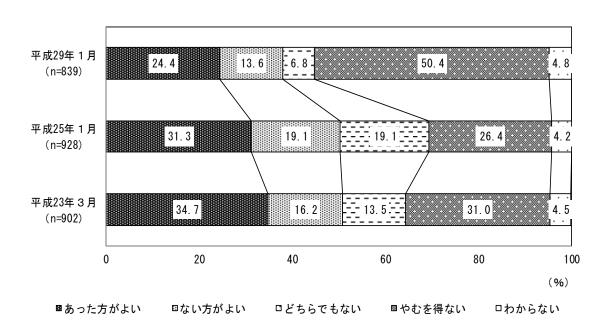
- ・「あった方がよい」の回答割合が、平成 23 年 3 月調査以降初めて 3 割を下回った。また「ない方がよい」についても、前回調査から 5 ポイント以上減少した。
- ・今回調査では「やむを得ない」を選択した回答者が半数で、前回から 24 ポイントと大き く上昇した。

(図表 v - 1 米軍基地に対する考え n=839)



(図表 V - 2 米軍基地に対する考え 前回調査比較)

順位	平成29年1月調査(n	=839)	平成25年1月調査(n	=928)	平成23年3月調査(n	=902)
順加	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合(%)	回答項目	割合(%)
1	やむを得ない	50. 4	あった方がよい	31.3	あった方がよい	34. 7
2	あった方がよい	24. 4	やむを得ない	26. 4	やむを得ない	31.0
3	ない方がよい	13. 6	ない方がよい	19. 1	ない方がよい	16. 2
3	どちらでもない	6.8	どちらでもない	19. 1		



v-1-(1) 米軍基地に対する考え(米軍基地があった方がよい理由)

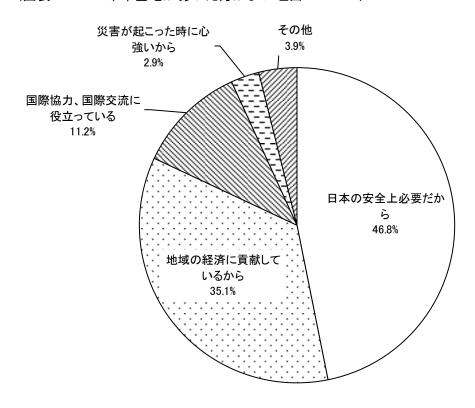
※前回調査は、あった方がよい理由のみを調査しているため、やむを得ないを除く。

問8-1 その理由について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

米軍基地があった方がよいとする回答者のうち4割以上が、選択理由として日本の 安全上必要であることを挙げている。

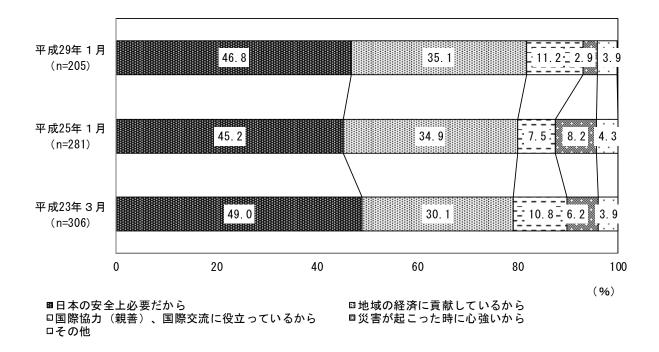
- ・米軍基地が「あった方がよい」を選択した理由として、「日本の安全上必要だから」が最 も多く半数近くを占める(46.8%)を占める。
- ・これに次いで、「地域の経済に貢献しているから」(35.1%)が多く、「日本の安全上必要だから」と合わせて8割を超える。
- ・前回の調査で理由として3番目に多く挙げられた、「災害が起こった時に心強いから」は、 今回の調査では2.9%で低下した(前回8.2%)。

(図表 v - 3 米軍基地があった方がよい理由 n=205)



(図表 V - 4 米軍基地があった方がよい理由 前回調査比較)

順位	平成29年1月調査(r	n=205)	平成25年1月調査(r	n=281)	平成23年3月調査(r	1=306)
川貝「江	回答項目	割合(%)	回答項目	割合(%)	回答項目	割合(%)
1	日本の安全上必要だか ら	46. 8	日本の安全上必要だか ら	45. 2	日本の安全上必要だか ら	49. 0
2	地域の経済に貢献して いるから	35. 1	地域の経済に貢献して いるから	34. 9	地域の経済に貢献して いるから	30. 1
3	国際協力、国際交流に 役立っているから	11. 2	災害が起こった時に心 強いから	8. 2	国際親善、国際交流に 役立っているから	10.8



(参考) 米軍基地に対する考え ※やむを得ない理由

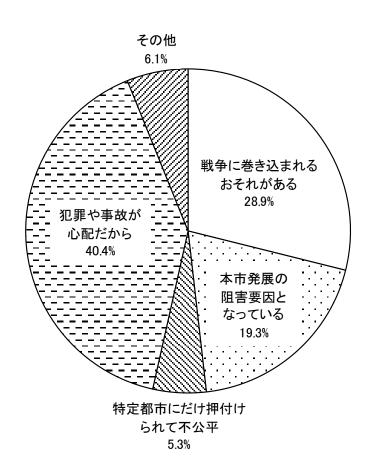
	件数(人)	回答項目・割合(%)				
調査時期		日本の安全上 必要だから	地域の経済に 貢献しているから	国際協力、国際協力に役立っている	災害が起こった 時に心強いから	その他
平成29年1月	420	57. 6	20. 5	11.9	3.8	6. 2

v-1-(2) 米軍基地に対する考え(米軍基地が<u>ない方がよい</u>理由) 問8-2 その理由について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

米軍基地がない方がよいとする回答者のうち約4割が、犯罪や事故が心配であることを選択理由として挙げている。

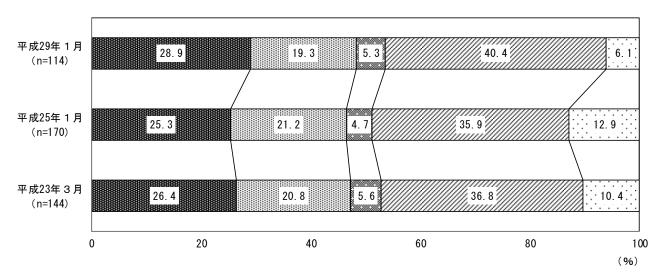
- ・米軍基地が「ない方がよい」を選択した理由としては、「犯罪や事故が心配だから」が最も多く、全体の約4割で、前回よりも約5ポイント増加した。
- ・これに次いで、「戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから」(28.9%)、「市の中心部 に位置し、本市発展の阻害要因となっているから」(19.3%)が多く挙げられている。
- ・全体的な回答傾向は、これまでの調査結果と大きな違いはみられない。

(図表 v - 5 米軍基地がない方がよい理由 n=114)



(図表 V - 6 米軍基地がない方がよい理由 前回調査比較)

順位	平成29年1月調査(n	=114)	平成25年1月調査(n	=170)	平成23年3月調査(n=144)		
順江	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合(%)	回答項目	割合(%)	
1	犯罪や事故が心配だから	40. 4	犯罪や事故が心配だから	35. 9	犯罪や事故が心配だから	36.8	
2	戦争の危険に巻き込まれ るおそれがあるから	28. 9	戦争の危険に巻き込まれ るおそれがあるから	25. 3	戦争の危険に巻き込まれ るおそれがあるから	26. 4	
3	市の中心部に位置し、本 市発展の阻害要因となっ ているから		市の中心部に位置し、本 市発展の阻害要因となっ ているから		市の中心部に位置し、本 市発展の阻害要因となっ ているから	20. 8	



■戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから

□市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから

◎横須賀市など特定の市にだけ押し付けられていて不公平だから ◎犯罪や事故が心配だから

□その他

v-2 自衛隊基地に対する考え

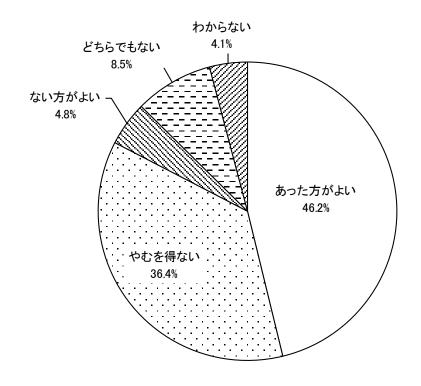
問9 横須賀市内にある自衛隊基地について、どのようにお考えですか。

(考えに近いものを1つ選択)

自衛隊基地について、「あった方がよい」の回答割合は今回の調査では半数を下回ったが、これまでと同様「ない方がよい」を大きく上回っている。

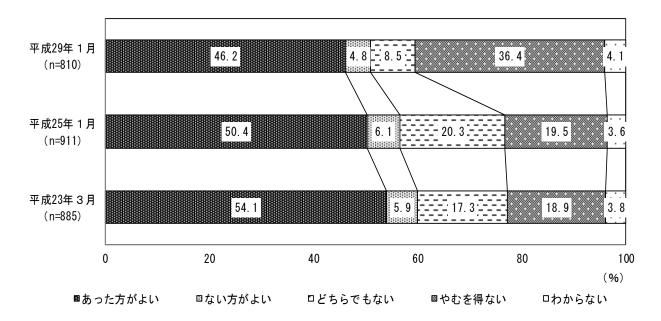
- ・「あった方がよい」の回答割合が、46.2%で最も多い。
- ・「やむを得ない」の回答割合は、前回調査に比べ大きく増加し(16.3 ポイント増)今回調査で、2番目に多く選択された。一方で「どちらでもない」の回答割合は、前回調査から大きく減少した(11 ポイント減)。※前回調査時と選択肢の順序が異なる

(図表 v - 7 自衛隊基地に対する考え n=810)



(図表 v - 8 自衛隊基地に対する考え 前回調査比較)

順位	平成29年1月調査(n	=810)	平成25年1月調査(n	ı=911)	平成23年3月調査(n=885)			
順口	回答項目	割合(%)	回答項目	割合(%)	回答項目	割合 (%)		
1	あった方がよい	46. 2	あった方がよい	50.4	あった方がよい	54. 1		
2	やむを得ない	36.4	どちらでもない	20. 3	やむを得ない	18. 9		
3	どちらでもない	8. 5	やむを得ない	19. 5	どちらでもない	17. 3		



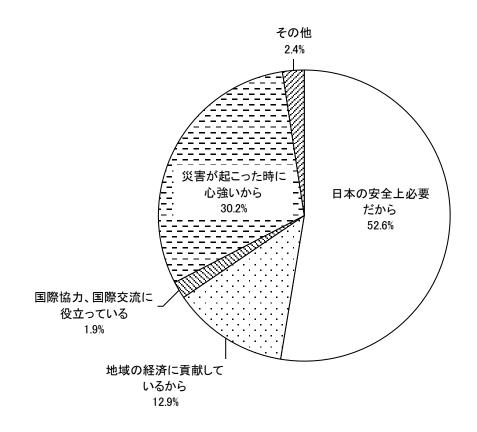
v-2-(1) 自衛隊基地に対する考え(自衛隊基地が<u>あった方がよい</u>理由) ※前回調査は、あった方がよい理由のみを調査しているため、やむを得ないを除く。

問9-1 その理由について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

自衛隊基地が「あった方がよい」を選択した回答者の5割以上が、選択理由として日本の安全上必要であることを挙げている。

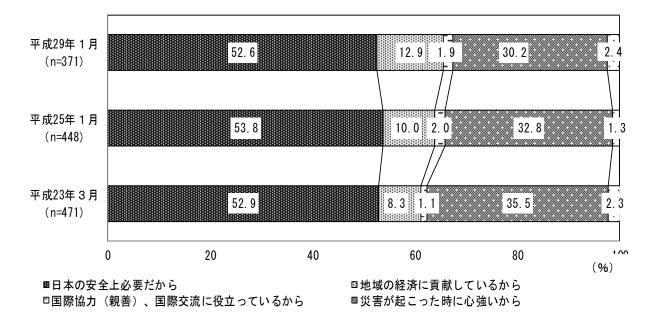
- ・自衛隊基地が「あった方がよい」を選択した理由として「日本の安全上必要だから」が 最も多く52.6%を占めている。また、「災害が起こった時に心強いから」も30.2%と多い。
- ・「国際協力、国際交流に役立っている」と感じている回答者は、1.9%と少ない。

(図表 v - 9 自衛隊基地があった方がよい理由 n=371)



(図表 v -10 自衛隊基地があった方がよい理由 前回調査比較)

順位	平成29年1月調査(r	า=371)	平成25年1月調査(r	n=448)	平成23年3月調査(n=471)		
顺位	回答項目	割合(%)	回答項目	割合(%)	回答項目	割合(%)	
1	日本の安全上必要だか ら	52. 6	日本の安全上必要だか ら	53. 8	日本の安全上必要だか ら	52. 9	
2	災害が起こった時に心 強いから	30. 2	災害が起こった時に心 強いから	32. 8	災害が起こった時に心 強いから	35. 5	
3	地域の経済に貢献して いるから	12. 9	地域の経済に貢献して いるから	10.0	地域の経済に貢献して いるから	8. 3	



(参考) 自衛隊に対する考え ※やむを得ない理由

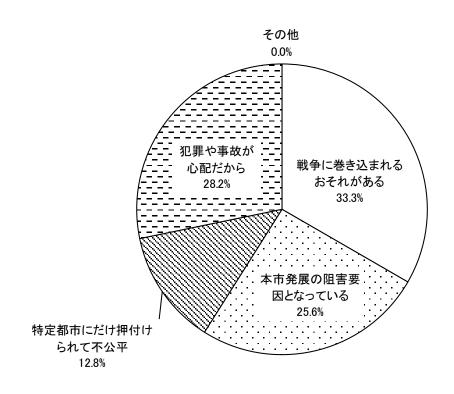
		回答項目・割合(%)										
調査時期	件数 (人)	日本の安全上 必要だから	地域の経済に 貢献しているから	国際協力、国際協力に役立っている	災害が起こった 時に心強いから	その他						
平成29年1月	294	63. 9	9. 2	4. 4	19. 4	3. 1						

v-2-(2) 自衛隊基地に対する考え(自衛隊基地がxい方がよい理由) 問9-2 その理由について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

自衛隊基地が「ない方がよい」を選択した回答者のうち、3割以上が選択理由として「戦争の危険に巻き込まれるおそれがある」を選択した。

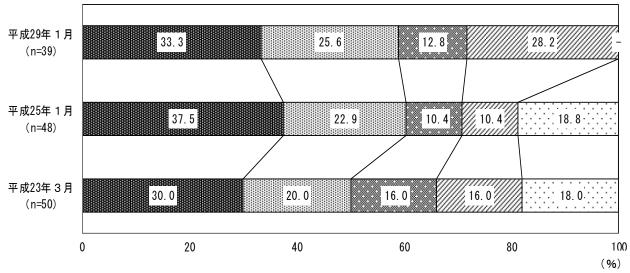
- ・自衛隊基地が「ない方がよい」の選択理由としては、前回の調査と同様「戦争の危険に 巻き込まれるおそれがあるから」(33.3%)が最も多く選択されたが、前回より約5ポイント減少した。
- ・今回の調査では「犯罪や事故が心配だから」の回答割合が、前回調査から大きく増加(17.8 ポイント増)し、2番目に多い理由となった。

(図表 v -11 自衛隊基地がない方がよい理由 n=39)



(図表 v -12 自衛隊基地がない方がよい理由 前回調査比較)

順位	平成29年1月調査(r	n=39)	平成25年1月調査(۱	n=48)	平成23年3月調査(n=50)			
順加	回答項目	割合 (%)	回答項目 割合(%)		回答項目	割合 (%)		
1	戦争の危険に巻き込まれ るおそれがあるから	33. 3	戦争の危険に巻き込まれ るおそれがあるから	37. 5	戦争の危険に巻き込まれ るおそれがあるから	30		
2	犯罪や事故が心配だから	28. 2	市の中心部に位置し、本 市発展の阻害要因となっ ているから	22. 9	市の中心部に位置し、本 市発展の阻害要因となっ ているから	20		
3	市の中心部に位置し、本 市発展の阻害要因となっ ているから		横須賀市など特定の都市 にだけ押し付けられてい て不公平だから		横須賀市など特定の都市 にだけ押し付けられてい て不公平だから	16		



■戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから □市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから □横須賀市など特定の市にだけ押し付けられていて不公平だから □犯罪や事故が心配だから □その他

vi. 政策の優先度や市役所サービスへの満足度について

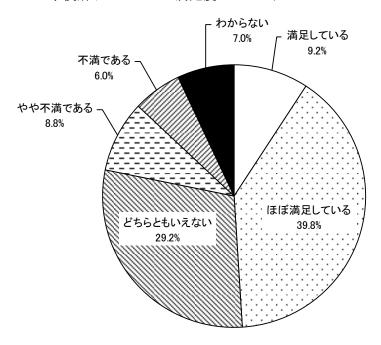
vi-1 日々の暮らしにかかわる市役所サービスへの満足度

問 10 日々の暮らしにかかわる市役所のサービスに対する、あなたの「満足度」について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

回答者の半数近くが「満足している」「ほぼ満足している」を選択した。

・今回の調査では、「満足している」「ほぼ満足している」の合計割合が49.0%で、その 割合は増加傾向にある。

(図表 vi - 1 市役所サービスへの満足度 n=839)



(図表 vi - 2 市役所サービスへの満足度 前回調査比較)

	回答項目・割合(%)										
調査時期	件数 (人)	①満足し ている	②ほぼ満足している		④やや不満である		⑥わから ない	1)+2	4+5		
平成29年1月	839	9. 2	39. 8	29. 2	8. 8	6. 0	7. 0	49. 0	14. 8		
平成25年1月	929	9. 5	36. 8	33. 8	8. 0	4. 5	7. 4	46. 3	12. 5		
平成23年3月	903	7. 1	37. 8	31. 7	8. 9	6. 0	8. 6	44. 9	14. 9		

vi-2 市民相談について

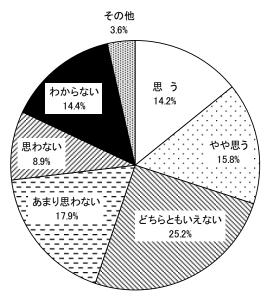
問 11 横須賀市では、市政に対する意見や要望のほかに、相続や離婚などの家庭問題、 近隣トラブル、多重債務問題など日常生活で生じるさまざまな問題について、 市民相談室を設けて相談に応じています。

あなたは、<u>日常生活の困りごとなどを相談する場所として、</u>市役所は利用しやすい場所だと思いますか。(あてはまるものを1つ選択)

「利用しやすいと思う」「やや思う」の合計割合は全体の3割で、これまでの調査とほぼ 同様の傾向。

・これまでの調査と同様「利用しやすいと思う」「やや思う」の合計割合は3割。一方で、「あまり思わない」「思わない」の合計割合も3割近く選択された(26.8%)。

(図表 vi - 3 日常生活の困りごとなどを相談する場所としての市役所の利用しやすさ n=840)



(図表vi-4 日常生活の困りごとなどを相談する場所としての市役所の利用しやすさ 前回調査比較)

					(%)					
調査時期	件数 (人)	①利用し やすいと 思う	②やや思 う	③どちら ともいえ ない	④あまり 思わない	⑤利用し やすいと 思わない	⑥わから ない ⑦その他		1)+2)	4+5
平成29年1月	840	14. 2	15. 8	25. 2	17. 9	8. 9	14. 4	3. 6	30. 0	26. 8
平成25年1月	910	14. 3	17. 9	23. 3	18. 2	10. 2	13. 6	2. 4	32. 2	28. 4
平成23年3月	901	15. 9	17. 5	24. 6	19. 0	10. 3	10. 4	2. 2	33. 4	29. 3

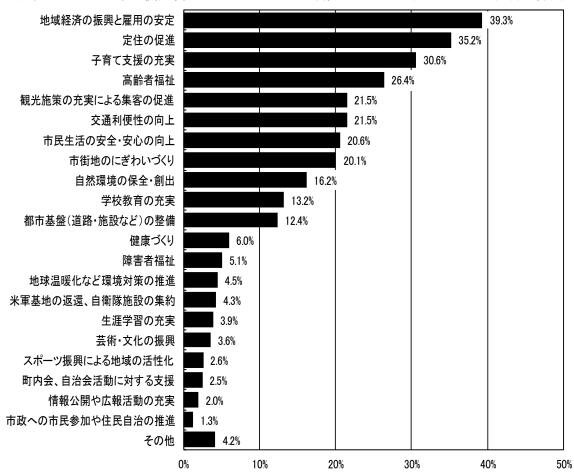
vi-3 政策の優先度

問12 10年後、20年後の将来、横須賀市が着実に成長できる都市であるためには、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。 (あてはまるものを順に3つ選択)

重点的に取り組むべき政策として、「地域経済の振興と雇用の安定」を選択した回答者が最も多かった。(複数回答)

・これまでの調査同様、一番優先すべき政策は「地域経済の振興と雇用の安定」で、今回 新たに選択肢として設けた「定住の促進」を選択した回答者が 35.2%で2番目に多い結 果となった。

(図表vi-5 政策の優先度 n=840) ※選択順位にかかわらず選択された割合で算出



(図表 vi - 6 政策の優先度 前回調査比較)

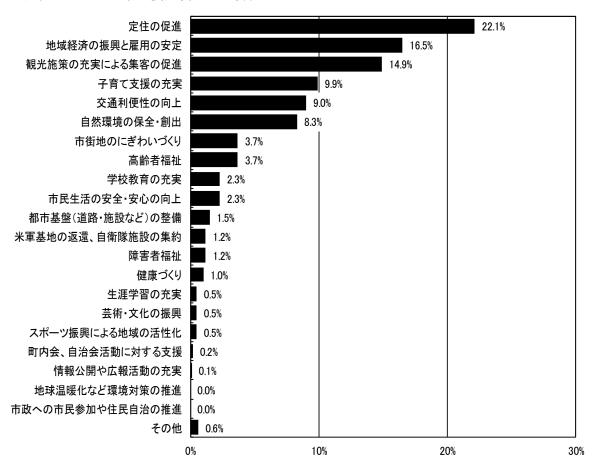
重点的に取り組むべき政策の項目		年1月 840)		5年1月 923)	平成23年3月 (n=901)		
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
地域経済の振興と雇用の安定	1	39. 3	1	46. 6	1	49. 6	
定住の促進(H28調査新規)	2	35. 2	_	_	_	_	
子育て支援の充実	3	30. 6	3	28. 2	5	24. 8	
高齢者福祉	4	26. 4	2	34. 6	2	39. 8	
観光施策の充実による集客の促進 (H28調査新規)	5	21.5	_	_	_	_	
交通利便性の向上	5	21.5	5	23. 0	6	21.8	
市民生活の安全・安心の向上	7	20. 6	4	24. 3	3	29. 7	
市街地のにぎわいづくり	8	20. 1	7	21.8	7	16. 4	
自然環境の保全・創出	9	16. 2	6	22. 9	4	28. 0	
学校教育の充実	10	13. 2	8	14. 6	8	14. 0	
都市基盤(道路・施設など)の整備	11	12. 4	11	10.4	11	9. 2	
健康づくり	12	6.0	10	10.7	15	6. 0	
障害者福祉	13	5. 1	13	8. 2	12	8. 3	
地球温暖化など環境対策の推進	14	4. 5	11	10.4	12	8. 3	
米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合	15	4. 3	14	6.8	9	10.0	
生涯学習の充実	16	3. 9	16	5. 1	17	3.8	
芸術・文化の振興 (H28調査新規)	17	3. 6	_	_	_	_	
スポーツ振興による地域の活性化 (H28調査新規)	18	2. 6	_	_	_	_	
町内会、自治会活動に対する支援	19	2. 5	15	5. 7	14	6. 2	
情報公開や広報活動の充実	20	2. 0	17	5. 0	18	3. 1	
市政への市民参加や住民自治の推進	21	1.3	18	3. 3	16	4. 3	
その他	_	4. 2	_	2. 6	_	3. 7	

【選択順位別の傾向】

(1) 重点的に取り組むべき政策 < 1番目>

・重点的に取り組むべき政策の1番目として最も多く選択された項目は、今回新たに選択項目として設定した「定住の促進」(22.1%)で、次いで「地域経済の振興と雇用の安定」(16.5%)、「観光政策の充実による集客の促進」(14.9%)という結果で、上位3位で全体の5割を占める。

(図表 vi - 7 政策の優先度 < 1番目> n=840)



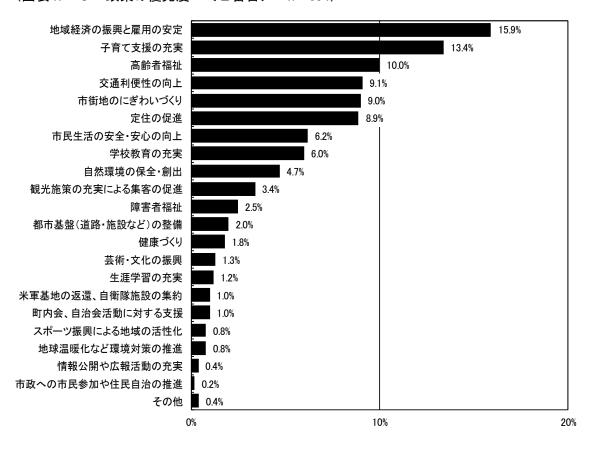
(図表 vi – 8 政策の優先度 < 1番目> 前回調査比較)

重点的に取り組むべき政策の項目)年 1 月 8 40)		5年1月 923)	平成23年3月 (n=901)		
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
定住の促進(H28調査新規)	1	22. 1	_	_	_	_	
地域経済の振興と雇用の安定	2	16. 5	1	25. 7	1	27. 6	
観光施策の充実による集客の促進	3	14. 9	5	8. 6	6	6. 4	
子育て支援の充実	4	9. 9	4	9. 4	4	7. 8	
交通利便性の向上	5	9. 0	3	13. 9	3	12. 2	
自然環境の保全・創出	6	8. 3	2	16.0	2	19.8	
市街地のにぎわいづくり	7	3. 7	6	6.8	7	4. 0	
高齢者福祉	7	3. 7	7	4. 1	5	7. 2	
市民生活の安全・安心の向上	9	2. 3	8	3. 7	8	3. 7	
学校教育の充実	9	2. 3	10	2. 5	9	2. 7	
都市基盤(道路・施設など)の整備	11	1.5	13	0.7	12	0.8	
米軍基地の返還、自衛隊施設の集約	12	1. 2	9	2. 6	10	2. 4	
障害者福祉	12	1. 2	11	2. 3	10	2. 4	
健康づくり	14	1.0	13	0.7	14	0. 6	
生涯学習の充実	15	0. 5	12	0.9	16	0. 3	
芸術・文化の振興 (H28調査新規)	15	0. 5	_	_	_	_	
スポーツ振興による地域の活性化 (H28調査新規)	15	0. 5	_	_	_	_	
町内会、自治会活動に対する支援	18	0. 2	16	0.4	13	0. 7	
情報公開や広報活動の充実	19	0. 1	17	0.3	18	0. 1	
地球温暖化など環境対策の推進	19	0.0	15	0.5	14	0. 6	
市政への市民参加や住民自治の推進	21	0.0	18	0.1	17	0. 2	
その他	_	0. 6	_	0. 9	1	0. 6	

(2) 重点的に取り組むべき政策 <2番目>

- ・2番目の項目として最も多く選択されたのは、「地域経済の振興と雇用の安定」(15.9%) で、次いで「子育て支援の充実」(13.4%)「高齢者福祉」(10.0%)が続く。
 - 1番目の項目として選択された政策とは傾向が異なる。

(図表 vi - 9 政策の優先度 < 2番目> n=834)



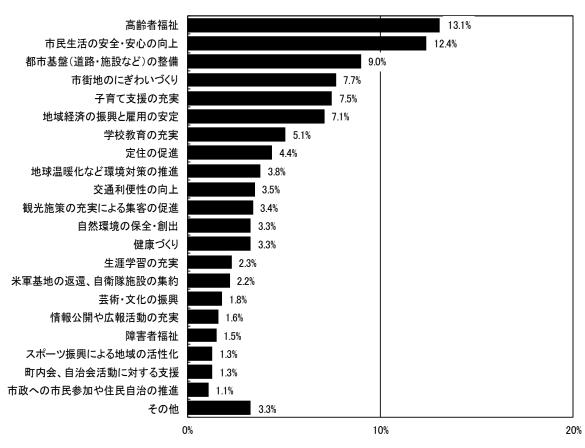
(図表 vi -10 政策の優先度 < 2番目> 前回調査比較)

重点的に取り組むべき政策の項目		9年1月 834)		5年1月 911)	平成23年3月 (n=893)		
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
地域経済の振興と雇用の安定(H28調査新規)	1	15. 9	1	16.0	1	16. 1	
子育て支援の充実	2	13. 4	3	12. 6	3	12. 7	
高齢者福祉	3	10.0	2	15. 0	2	15. 7	
交通利便性の向上	4	9. 1	7	6. 6	7	6. 5	
市街地のにぎわいづくり	5	9. 0	4	9. 9	5	7. 4	
定住の促進(H28調査新規)	6	8. 9	_	_	1		
市民生活の安全・安心の向上	7	6. 2	6	6. 9	4	8. 3	
学校教育の充実	8	6. 0	5	8. 1	6	6.8	
自然環境の保全・創出	9	4. 7	8	4. 0	10	4. 0	
観光施策の充実による集客の促進	10	3. 4	16	1. 2	16	1. 2	
障害者福祉	11	2. 5	9	3.8	9	4. 3	
都市基盤(道路・施設など)の整備	12	2. 0	10	3. 1	11	2. 4	
健康づくり	13	1.8	12	2. 9	11	2. 4	
芸術・文化の振興(H28調査新規)	14	1. 3	_	_	-	1	
生涯学習の充実	15	1. 2	11	3. 0	13	2. 1	
米軍基地の返還、自衛隊施設の集約	16	1.0	13	2. 6	8	4. 9	
町内会、自治会活動に対する支援	16	1.0	14	2. 0	14	2. 0	
スポーツ振興による地域の活性化 (H28調査新規)	18	0.8	_	_		_	
地球温暖化など環境対策の推進	18	0.8	15	1.8	15	1.7	
情報公開や広報活動の充実	20	0.4	17	0.3	18	0. 6	
市政への市民参加や住民自治の推進	21	0. 2	18	0. 1	17	0.8	
その他	_	0. 4	_	0. 1	_	0. 2	

(3) 重点的に取り組むべき政策 <3番目>

・3番目の項目として最も多く選択されたのは「高齢者福祉」(13.1%)で、次いで「市民生活の安全・安心の向上」(12.4%)、「都市基盤(道路・施設など)の整備」(9.0%)が続く。

(図表 vi -11 政策の優先度 <3番目> n=822)



(図表 vi -12 政策の優先度 <3番目> 前回調査比較)

重点的に取り組むべき政策の項目		年1月 822)		5年1月 902)		8年3月 877)
主点的に扱う配む、こ以来の項目	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)
高齢者福祉	1	13. 1	1	16.0	2	17. 6
市民生活の安全・安心の向上	2	12. 4	2	14. 1	1	18. 4
都市基盤(道路・施設など)の整備	3	9. 0	5	6. 9	3	6. 3
市街地のにぎわいづくり	4	7. 7	7	5. 3	6	5. 2
子育て支援の充実	5	7. 5	6	6. 4	8	4. 6
地域経済の振興と雇用の安定	6	7. 1	8	5. 2	5	6. 2
学校教育の充実	7	5. 1	10	4. 2	7	4. 7
定住の促進	8	4. 4	_	_	_	_
地球温暖化など環境対策の推進	9	3. 8	3	8. 3	3	6. 3
交通利便性の向上	10	3. 5	14	2. 7	12	3. 2
観光施策の充実による集客の促進	11	3. 4	14	2. 7	16	1.8
健康づくり	12	3. 3	4	7. 4	12	3. 2
自然環境の保全・創出	13	3. 3	13	3. 0	9	4. 3
生涯学習の充実	13	2. 3	18	1.3	18	1.4
米軍基地の返還、自衛隊施設の集約	15	2. 2	17	1.7	14	2. 7
芸術・文化の振興	16	1.8	_	_	_	_
情報公開や広報活動の充実	17	1. 6	9	4. 4	15	2. 5
障害者福祉	18	1.5	16	2. 2	17	1.7
スポーツ振興による地域の活性化	19	1. 3	_	_	_	_
町内会、自治会活動に対する支援	19	1. 3	11	3. 4	10	3. 6
市政への市民参加や住民自治の推進	21	1.1	12	3. 1	11	3. 4
その他	_	3. 3	_	1.7	_	3. 0

(4) 重点的に取り組むべき政策全体と選択順位別

- ・重点的に取り組むべき政策の選択順位別の状況をみると「地域経済の振興と雇用の安定」 のほか、今回新たに設問として加えた「定住の促進」「観光施策の充実によ集客の促進」 に対する関心の高さがうかがえる。
- ・これらに加え「子育て支援の充実」や「高齢者福祉」などが、重点的に取り組むべき政策として捉えられている状況が見てとれる。

(図表 vi - 13 政策の優先度 重点的に取り組むべき政策全体と選択順位別)

重点的に取り組むべき政策の項目		全体(n=8	340)		1番目 (n=	=840)		2番目 (n=	=834)	3番目 (n=822)		
主点別に収り組むべて以来の残ら	順位	件数(人)	割合 (%)	順位	件数(人)	割合 (%)	順位	件数(人)	割合 (%)	順位	件数(人)	割合 (%)
地域経済の振興と雇用の安定	1	330	39. 3	2	139	16. 5	1	133	15. 9	6	58	7.1
定住の促進(H28調査新規)	2	296	35. 5	1	186	22. 1	6	74	8. 9	8	36	4. 4
子育て支援の充実	3	257	30. 6	4	83	9. 9	2	112	13. 4	5	62	7. 5
高齢者福祉	4	222	26. 4	7	31	3.7	3	83	10.0	1	108	13. 1
観光施策の充実による集客の促進 (H28調査新規)	5	181	21.5	3	125	14. 9	10	28	3. 4	11	28	3. 4
交通利便性の向上	6	181	21.5	5	76	9. 0	4	76	9. 1	10	29	3. 5
市民生活の安全・安心の向上	7	173	20. 6	9	19	2. 3	7	52	6. 2	2	102	12. 4
市街地のにぎわいづくり	8	169	20. 1	7	31	3. 7	5	75	9. 0	4	63	7.7
自然環境の保全・創出	9	136	16. 2	6	70	8. 3	9	39	4. 7	12	27	3. 3
学校教育の充実	10	111	13. 2	9	19	2. 3	8	50	6.0	7	42	5. 1
都市基盤(道路・施設など)の整備	11	104	12. 4	11	13	1.5	12	17	2. 0	3	74	9. 0
健康づくり	12	50	6. 0	14	8	1.0	13	15	1.8	12	27	3. 3
障害者福祉	13	43	5. 1	12	10	1. 2	11	21	2. 5	18	12	1.5
地球温暖化など環境対策の推進	14	38	4. 5	20	0	0.0	18	7	0.8	9	31	3.8
米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合	15	36	4. 3	12	10	1. 2	16	8	1.0	15	18	2. 2
生涯学習の充実	16	33	3. 9	15	4	0.5	15	10	1. 2	14	19	2. 3
芸術・文化の振興 (H28調査新規)	17	30	3. 6	16	4	0.5	14	11	1.3	16	15	1.8
スポーツ振興による地域の活性化 (H28調査新規)	18	22	2. 6	17	4	0.5	18	7	0.8	19	11	1.3
町内会、自治会活動に対する支援	19	21	2. 5	18	2	0.1	16	8	1.0	19	11	1.3
情報公開や広報活動の充実	20	17	2. 0	19	1	0.1	20	3	0. 4	17	13	1.6
市政への市民参加や住民自治の推進	21	11	1. 3	21	0	0.0	21	2	0. 2	21	9	1.1
その他	_	35	4. 2	_	5	0.6	_	3	0.4	_	27	3. 3

※回答は順に3つの複数選択のため、それぞれのサンプル数は異なる。

基本計画進行管理編

Ⅳ. 集計結果

vii. 市の政策に対する実感

基本計画に掲げた<u>まちづくり政策(大柱)</u>および<u>まちづくりの推進姿勢</u>における政策(中柱)の推進状況に対する実感について、次の回答項目を設定し調査した。

問 13 回答用紙のそれぞれの項目について、あてはまるところに 1 つずつ〇をつけてく ださい。

例) 1. いきいきとした交流が広がるまち

【まちの魅力づくり】

市外からの集客につながる魅力的なイベントや、定住に結びつく取り組み が進められている。

回答項目:①感じる ②やや感じる ③どちらともいえない ④あまり感じない ⑤ あじない ⑥ わからない

1. まちづくり政策の目標の状況

(今回調査の傾向)

- ・まちづくり政策で掲げた 23 の政策 (中柱) のうち、DI がプラスの政策は8つで、全体の約3割となった。
- ・DI が最も高い値を示したものは「5-(3) 快適な暮らしを支える生活基盤づくり」の 40.5 で、これに次いで、「2-(2) 魅力あふれる農水産業の振興」「2-(1) 自然環境の保全・創出による潤いある地域づくり」が高い値を示した。
- ・一方、DI がマイナスの状態に位置する政策(中柱)のうち、最も低い値を示したものは 「2-(4)雇用の安定と働く環境の充実」で、その値は▲53.7と突出している。
- ・これに次いで、「2-(3)産業の成長支援と企業誘致」「2-(6)可能な限りの米軍 基地の返還、自衛隊施設の集約・統合」が低く、これらの政策はすべて「2 海と緑を 生かした活気あふれるまち」を構成する政策である。

(前回調査との比較)

- ・平成25年に実施した調査との比較では、差の大きさに違いはあるものの、まちづくり政策で掲げた23の政策(中柱)のうち、19の政策でDI値が低下している。
- ・中でも「2-(3)産業の成長支援と企業誘致」の差 \blacktriangle 11.3 ポイントで最も大きく、次いで、「1-(3)陸と海に広がる総合的なネットワークづくり」(\blacktriangle 8.8 ポイント)が続く。
- ・一方、DI 値が上昇したのは 4 つの政策で、「1-(1) 人を呼び込む環境づくり」の 4.0 ポイントが最も上昇した政策であった。
- ・前回調査との比較で、まちづくり政策の目標のうち「3 個性豊かな人と文化が育つまち」を構成する5つの政策すべてで DI 値が低下した。中でも「(2) 人間性豊かな子どもが育つ環境の充実」の差が▲7.1 ポイントで最も大きかった。

(図表vii-1 まちづくり政策の目標に対する市民の実感)

まちづくり	政策		DI		前回比	前々回比
政策の目標			平成25年1月		29-25	29-23
1	(1)人を呼び込む環境づくり	0. 2	▲ 3.8	▲ 13. 7	4. 0	13. 9
いきいきとし た交流が広が	(2)交流を支える情報の発信	▲ 10.1	▲ 12.0	▲ 19.5	1. 9	9. 4
るまち	(3)陸と海に広がる総合的なネットワークづくり	3. 4	12. 2	9. 5	▲ 8.8	▲ 6.1
	(1)自然環境の保全・創出による潤いある地域づくり	18. 1	26. 3	27. 1	▲ 8.2	▲ 9.0
	(2)魅力あふれる農水産業の振興	24. 7	27. 7	16. 6	▲ 3.0	8. 1
2 海と緑を生か	(3)産業の成長支援と企業誘致	▲ 38.7	▲ 27.4	▲ 33.7	▲ 11.3	▲ 5.0
した活気あふ れるまち	(4)雇用の安定と働く環境の充実	▲ 53.7	▲ 56.1	▲ 61.6	2. 4	7. 9
12 0 0 1 2	(5)市街地のにぎわいづくり	▲ 32.2	▲ 26.6	▲ 18.6	▲ 5.6	▲ 13.6
	(6)可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約・統合	▲ 37.9	▲ 34.5	▲ 38.0	▲ 3.4	0. 1
	(1)子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実	▲ 17.6	▲ 16.1	▲ 28.4	▲ 1.5	10.8
3	(2)人間性豊かな子どもが育つ教育の充実	▲ 20.3	▲ 13.2	▲ 18.8	▲ 7.1	▲ 1.5
個性豊かな人 と文化が育つ	(3)生涯を通じて学び、活動できる環境づくり	▲ 6.1	▲ 2.6	▲ 9.2	▲ 3.5	3. 1
まち	(4)多様な文化の継承、発展、創造	▲ 12.4	▲ 10.6	▲ 7.5	▲ 1.8	▲ 4.9
	(5)魅力ある景観の形成	15. 7	19. 8	19. 6	▲ 4.1	▲ 3.9
	(1)平和と人権を尊重する誰にも開かれたまちづくり	▲ 18.4	▲ 16.0	▲ 18.6	▲ 2.4	0. 2
4	(2)ユニバーサルデザインのまちづくり	▲ 5.0	1.3	0. 2	▲ 6.3	▲ 5.2
健康でやさし い心のふれあ	(3)総合的な地域福祉サービスの推進	▲ 12.5	▲ 8.8	▲ 16.4	▲ 3.7	3. 9
うまち	(4)健康づくりの推進と医療体制の充実	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 13.0	0. 5	12. 5
	(5)コミュニティーへの支援	8. 0	11.3	5. 8	▲ 3.3	2. 2
	(1)災害・緊急事態に強いまちづくり	▲ 0.3	1.9	▲ 1.9	▲ 2.2	1. 6
5 安全で快適に	(2)安心して日常生活を送るための環境づくり	17. 2	18. 5	11. 4	▲ 1.3	5. 8
暮らせるまち	(3)快適な暮らしを支える生活基盤づくり	40. 5	42. 6	43. 0	▲ 2.1	▲ 2.5
	(4)地球環境問題への対応	▲ 17.5	▲ 10.8	▲ 11.1	▲ 6.7	▲ 6.4

2. まちづくり政策の目標別集計結果

1 いきいきとした交流が広がるまち

(今回調査の傾向)

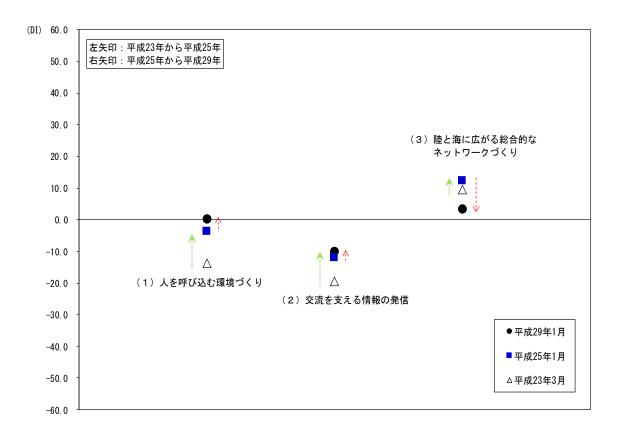
・3つの政策(中柱)のうち DI がマイナスとなった政策は「(2)交流を支える情報発信」で、▲10.1 ポイントであった。

(前回調査との比較)

- •「(2) 交流を支える情報発信」は、これまでの調査から改善傾向はうかがえるものの、 現時点で実感は得られているとはいえない状況にある。
- ・一方、「(3) 海と陸に広がる総合的なネットワークづくり」については、一定の実感が 得られていると言えるが、これまでの調査からは後退の傾向がみられる。

(図表vii-2 「1 いきいきとした交流が広がるまち」に対する市民の実感)

							(ポイント)				
政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	①感じる + ②やや感じる(a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない + ⑤感じない(b)	DI (a)-(b)	前回比 29-25	前々回比 29-23		
	市外からの集客につ	平成29年1月	785	41. 1	18.0	40. 9	0. 2				
(1)人を呼び込む 環境づくり		平成25年1月	863	36. 3	23. 6	40. 1	▲ 3.8	4. 0	13. 9		
	が進められている。	平成23年3月	829	33. 5	19. 3	47. 2	▲ 13. 7				
	市外からの集客につ	平成29年1月	781	34. 1	21. 8	44. 2	▲ 10.1				
(2)交流を支える 情報の発信	ながる魅力やイベン ト情報の発信が積極	平成25年1月	848	32. 0	24. 1	44. 0	▲ 12.0	1.9	9. 4		
	的に行われている。	平成23年3月	822	28. 8	22. 9	48. 3	▲ 19.5				
(3)陸と海に広が	近隣の都市とつなが る道路や港湾の整備	平成29年1月	791	39. 4	24. 5	36. 0	3. 4				
る総合的な ネットワーク	る総合的ななど、市民や事業	平成25年1月	867	42. 8	26. 6	30. 6	12. 2	▲ 8.8	▲ 6.1		
づくり		平成23年3月	830	43. 6	22. 3	34. 1	9. 5				



2 海と緑を生かした活気あふれるまち

(今回調査の傾向)

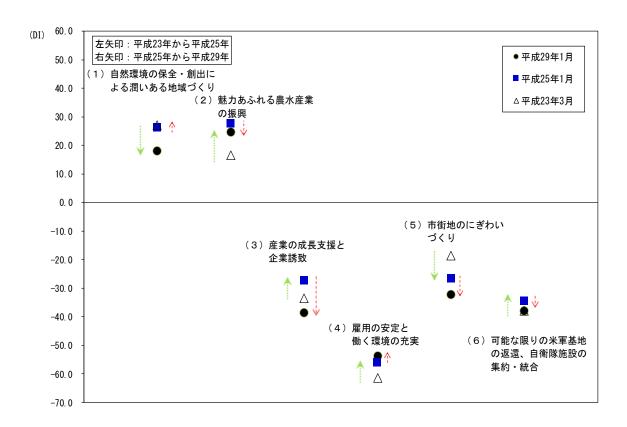
- ・まちづくり政策の目標を構成する6つの政策(中柱)のうち、DIがマイナスの政策が4 つあり、その値はいずれも▲30 ポイントを超えている。このことから当該まちづくり政 策の目標については実感が得られてない状況といえる。
- ・DI がマイナスとなった 4 つの政策のうち、「(4) 雇用の安定と働く環境の充実」は、23 の政策(中柱)全体の中で最も低い値を示している。
- ・一方、DI がプラスとなった2つの政策のうち「(2) 魅力あふれる農水産業の振興」は、 政策(中柱)全体の中で2番目に高いDI値となっており、政策間で実感に大きな差がみ られる。

(前回調査との比較)

- ・6つの政策のうち「(4)雇用の安定と働く環境の充実」以外、すべてマイナスとなった。
- ・DI がマイナスとなった 5 つの政策のうち、最も DI 値の低下したのは「(3) 産業の成長 支援と企業誘致」で、マイナスが 10 ポイントを超えている。

(図表vii-3 「2 海と緑を生かした活気あふれるまち」に対する市民の実感)

									(ポイント)
政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	①感じる + ②やや感じる(a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない + ⑤感じない(b)	DI (a)–(b)	前回比 29-25	前々回比 29-23
海や緑、川などの自然環境の保全、自然 ・創出によを削出による潤いある地。 はづくり	然環境の保全、自然	平成29年1月	787	46. 1	25. 9	28. 0	18. 1		
	平成25年1月	882	50. 7	24. 9	24. 4	26. 3	▲ 8.2	▲ 9.0	
13, J ()	めの取り組みが進め られている。	平成23年3月	854	52. 6	21. 9	25. 5	27. 1		
(2)魅力あふれる	農業や漁業が生産地 としてだけではな	平成29年1月	791	51. 1	22. 5	26. 4	24. 7		
農水産業の振興	く、観光などさまざまな場面で活用され	平成25年 1 月	876	51. 1	25. 5	23. 4	27. 7	▲ 3.0	8.1
	ている。	平成23年3月	831	47. 8	21. 1	31. 2	16. 6		
	新たな企業・研究機 関の進出や地域企業 の活動に対する支援 が進められている。	平成29年1月	685	16. 5	28. 3	55. 2	▲ 38.7	-	
(3)産業の成長支 援と企業誘致		平成25年1月	753	21. 1	30. 4	48. 5	▲ 27.4		▲ 5.0
		平成23年3月	723	19. 8	26. 7	53. 5	▲ 33.7		
(4)雇用の安定と	仕事に就くための支 援が適切に行われて	平成29年1月	654	8. 1	30. 1	61.8	▲ 53.7		
働く環境の充 実	いる。また、勤労者 の労働環境を改善す る取り組みが進めら	平成25年 1 月	748	7. 5	28. 9	63. 6	▲ 56.1	2. 4	7.9
	れている。	平成23年3月	748	6. 8	24. 7	68. 4	▲ 61.6		
	商業施設や住居が駅 など地域の拠点に集 約され、魅力やにぎ	平成29年 1 月	768	21. 4	25. 0	53. 6	▲ 32.2		
(5)市街地のにぎ わいづくり	わいが生まれている。一方、郊外の住宅団地などについて	平成25年1月	865	21. 5	30. 4	48. 1	▲ 26.6	▲ 5.6	▲ 13.6
	は良好な環境が保た れている。	平成23年3月	823	27. 5	26. 5	46. 1	▲ 18.6		
(6)可能な限りの	現状を踏まえた中 で、可能な限り米軍	平成29年1月	612	13. 7	34. 6	51. 6	▲ 37. 9	3.4	
米軍基地の返 還、自衛隊施 設の集約・統	基地の返還や自衛隊 施設の集約・統合に	平成25年1月	727	17. 1	31. 4	51. 6	▲ 34.5		0.1
合	向けた要請活動など が行われている。	平成23年3月	693	14. 1	33. 8	52. 1	▲ 38.0		



3 個性豊かな人と文化が育つまち

(今回調査の傾向)

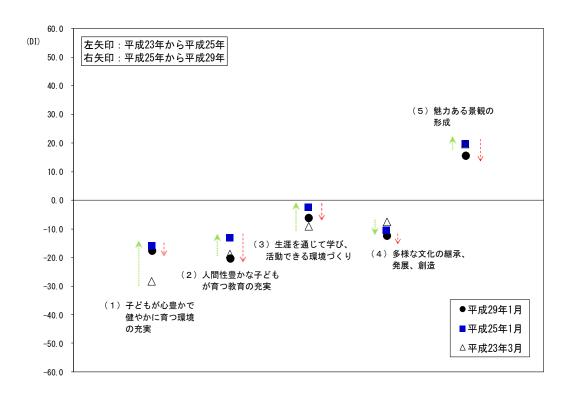
・5つの政策(中柱)のうち DI がプラスとなった政策は「(5)魅力ある景観の形成」の みで、その他すべての政策は、DI がマイナスである。

(前回調査との比較)

・5つの政策(中柱)すべて DI がマイナスで、中でも「(2) 人間性豊かな子どもが育つ教育の充実」の低下幅が▲7.1で最も大きかった。

(図表vii-4 「3 個性豊かな人と文化が育つまち」に対する市民の実感)

			del site						(ポイント)	
政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	①感じる + ②やや感じる(a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない + ⑤感じない(b)	DI (a)-(b)	前回比 29-25	前々回比 29-23	
(1)子どもが心豊	子どもを産み育てや		平成29年1月	655	26. 1	30. 2	43. 7	▲ 17. 6		
かで健やかに 育つ環境の充	すく、また、子ども が健やかに育つ環境 づくりが進められて	平成25年1月	697	25. 7	32. 6	41.8	▲ 16.1	▲ 1.5	10. 8	
実	เงื่อ	平成23年3月	714	21. 0	29. 6	49. 4	▲ 28.4			
	子どもの「学力」 「心」「体」がバラ	平成29年1月	566	21.0	37. 6	41. 3	▲ 20.3			
(2)人間性豊かな 子どもが育つ 教育の充実	ンスよく育成されている。また、英語、 パソコンなどを活用 した独自性のある教 育が充実している。	平成25年1月	602	25. 7	35. 4	38. 9	▲ 13.2	▲ 7.1	▲ 1.8	
		平成23年3月	629	24. 6	32. 0	43. 4	▲ 18.8			
(3)生涯を通じて	生涯を通じて学びや スポーツ活動ができ る、また、その活動 の成果を地域に還元 できる環境づくりが 進められている。	平成29年1月	686	32. 5	28. 9	38. 6	▲ 6.1			
学び、活動で きる環境づく		平成25年1月	750	34. 3	28. 8	36. 9	▲ 2.6	▲ 3.5	3. 1	
IJ		平成23年3月	730	30. 5	29.7	39. 7	▲ 9.2			
(a) 47 H + + 11. 0	地域の伝統文化を含 め、多様な文化が継	平成29年1月	727	30. 0	27. 6	42. 4	▲ 12. 4			
(4)多様な文化の 継承、発展、 創造	承、創出されてい る。また、優れた芸	平成25年1月	778	29. 6	30. 2	40. 2	▲ 10.6	▲ 1.8	▲ 4.9	
	術文化に親しむ環境 がある。	平成23年3月	772	32. 4	27.7	39. 9	▲ 7.5			
	海や緑、歴史的な建	平成29年1月	774	46. 3	23. 1	30. 6	15. 7	▲ 4.1		
(5)魅力ある景観 の形成	造物などを生かした、横須賀らしい魅力ある景観づくりが	平成25年1月	848	47. 3	25. 2	27. 5	19. 8		▲ 3.9	
	進められている。	平成23年3月	829	49. 8	20.0	30. 2	19. 6			



4 健康でやさしい心のふれあうまち

(今回調査の傾向)

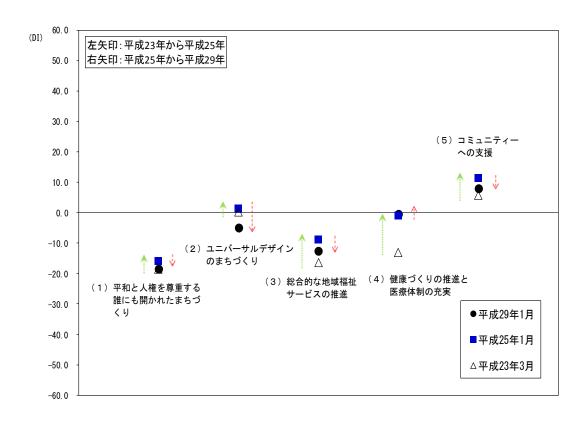
・5つの政策(中柱)のうち「(5)コミュニティへの支援」以外すべて DI がマイナスで、中でも「平和と人権を尊重する誰にも開かれたまちづくり」と「総合的な地域福祉サービスの推進」のマイナスは、10ポイントを超える。

(前回調査との比較)

・全体的に DI の差に大きな違いはなく「(2) ユニバーサルデザインのまちづくり」のみ、マイナス幅が 5 ポイントを超える。

(図表vii-5 「4 健康でやさしい心のふれあうまち」に対する市民の実感)

			tot alat						(ポイント)
政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	①感じる + ②やや感じる(a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない + ⑤感じない(b)	DI (a)-(b)	前回比 29-25	前々回比 29-23
(1)平和と人権を尊	亚红儿 佐杉黄手士	平成29年1月	645	19. 7	42. 2	38. 1	▲ 18.4		
重する誰にも開 かれたまちづく	平和と人権が尊重される社会環境づくりが進められている。	平成25年1月	714	21.8	40. 3	37. 8	▲ 16.0	▲ 2.4	0. 2
IJ	13 1E07 540 CV 15 8	平成23年3月	724	21.5	38. 4	40. 1	▲ 18.6		
/-> »	誰もが、気軽に出かけたり、安心して利用できる施設づくり	平成29年1月	743	32. 0	31.0	37. 0	▲ 5.0		
(2)ユニバーサルデ ザインのまちづ くり	用できる施設している。 が進められている。 また、さまざまなま 動に参加できる環境 づくりが進められている。	平成25年1月	825	35. 4	30. 5	34. 1	1.3	▲ 6.3	▲ 5.2
		平成23年3月	810	34. 8	30. 6	34. 6	0. 2		
(2) 《公孙允仲甘河	誰もが、その人らし く生活できるような 福祉サービスが提供 されている。また、 そのための人づくり	平成29年1月	689	28. 0	31. 5	40. 5	▲ 12.5		
(3)総合的な地域福 祉サービスの推 進		平成25年1月	771	29. 2	32. 8	38. 0	▲ 8.8	▲ 3.7	3. 9
	や場づくりが進めら れている。	平成23年3月	754	27. 1	29. 4	43. 5	▲ 16.4		
/ 4) 歴 序 ベ / リ の 世	生涯を通じて心身ともに健康でいるため	平成29年1月	741	34. 3	30. 9	34. 8	▲ 0.5		
(4)健康づくりの推 進と医療体制の 充実	の取り組みや、安心 して医療サービスを 受けられる環境づく	平成25年1月	817	34. 6	29. 7	35. 6	▲ 1.0	0. 5	12. 5
222	りが進められてい る。	平成23年3月	798	29. 7	27. 6	42. 7	▲ 13.0		
	町内会や自治会活動 をはじめ、福祉や教	平成29年1月	708	39. 1	29. 8	31. 1	8. 0		
(5)コミュニティー への支援	育などさまざまな テーマの自主活動が	平成25年1月	788	40.7	29. 8	29. 4	11.3		2. 2
	活発に行われてい る。	平成23年3月	760	38. 3	29. 2	32. 5	5.8		



5 安全で快適に暮らせるまち

(今回調査の傾向)

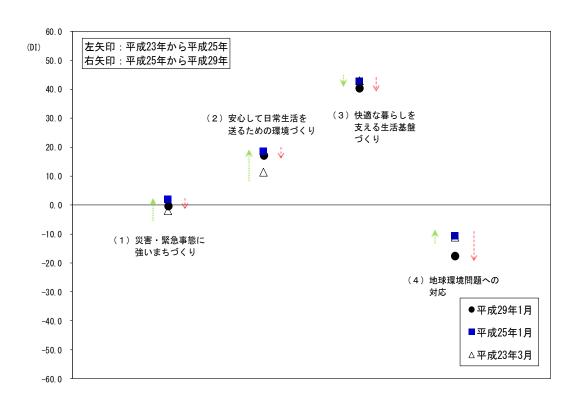
・すべての政策(中柱)の中で「(3)快適な暮らしを支える生活基盤づくり」の DI が最 も高い値で、高い実感を得られている政策といえる。

(前回調査との比較)

・まちづくり政策の目標を構成する4つの政策(中柱)のすべてのDI値が低下した。 中でも「(4)地球環境問題への対応」は5ポイント以上低下した。これ以外の政策については大きな変化はみられない。

(図表vii-6 「5 安全で快適に暮らせるまち」に対する市民の実感)

			tal slet						(ポイント)
政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	①感じる + ②やや感じる(a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない + ⑤感じない(b)	DI (a)-(b)	前回比 29-25	前々回比 29-23
	公共施設の耐震化や 市民による防災活動 など危機管理の体制	平成29年1月	757	36. 2	27. 3	36. 5	▲ 0.3		
(1)災害・緊急事態に強いまちづくり などに優に生の体制が充実し、災害・緊急事態しるととのないまちづくりが進められている。	平成25年1月	841	38. 0	25. 8	36. 1	1.9	▲ 2.2	1.6	
	まちづくりが進めら	平成23年3月	804	35. 9	26. 2	37. 8	▲ 1.9		
	環境保全、消防・救 急救助、防犯、交通	平成29年1月	748	43. 4	30. 3	26. 2	17. 2		
生活を送るた めの環境づく	安全、消費者保護など、安心して日常生活を送るための対策が進められている。	平成25年1月	824	45. 1	28. 3	26. 6	18. 5	▲ 1.3	5.8
Ŋ		平成23年3月	811	41. 9	27. 6	30. 5	11. 4		
(-)	水道、下水道、ごみ 処理、道路・交通環	平成29年1月	774	58. 8	22. 9	18. 3	40. 5		
(3)快適な暮らし を支える生活 基盤づくり	境、公園、河川管理 など、市民の快適な 暮らしを支える生活	平成25年1月	866	60. 2	22. 3	17. 6	42. 6	▲ 2. 1	▲ 2.5
	基盤づくりが適切に 進められている。	平成23年3月	838	60. 3	22. 4	17. 3	43. 0		
	温暖化対策など地球規模の問題に対し	平成29年1月	654	23. 9	34. 7	41. 4	▲ 17.5		
(4)地球環境問題 市役所なる	て、市民、事業者、 市役所など、さまざ まな主体による取り	平成25年1月	717	26. 9	35. 4	37. 7	▲ 10.8	▲ 6.7	▲ 6.4
	組みが進められている。	平成23年3月	723	28. 6	31.7	39. 7	▲ 11.1		



3. まちづくりの推進姿勢の状況

(今回調査の傾向)

- ・まちづくりの推進姿勢に掲げた8つの政策(中柱)のうち、DIがプラスの政策は、
 - 「1-(1)情報公開・個人情報保護の充実」「1-(2)広報広聴活動の充実」
 - $\lceil 2 (1)$ 機動的で効率的な体制づくり」の3つ。
- ・このうち DI がプラスで最も高い値を示したものは「2-(1)機動的で効率的な体制づくり」で、これは市役所の利用のしやすさ、情報システムの利用による手続きの便利さなどに関する項目である。
- ・DI がマイナスの政策のうち、その値が最も低い政策は「2-(3) 健全な行財政運営」「3-(1) 地方分権の推進」で、どちらも▲20 ポイントを超えている。

(前回調査との比較)

・8つの政策(中柱)すべての DI 値が低下している。マイナス幅が 5 ポイントを超える政策は、「1-(1) 情報公開・個人情報保護の充実」「2-(1) 機動的で効率的な体制づくり」「3-(1) 地方分権の推進」の 3 つで、それ以外の政策についてはマイナスの幅が小さく、前回調査と大きな変化はみられない。

(図表vii-7 まちづくりの推進姿勢に対する市民の実感)

まちづくりの	政策(中柱)		DI		前回比	前々回比
推進姿勢	以宋(中任)	平成29年1月	平成25年1月	平成23年3月	29-25	29-23
1	(1)情報公開・個人情報保護の充実	7.1	14. 6	12. 7	▲ 7.5	▲ 5.6
市民協働によ るまちづくり	(2) 広報広聴活動の充実	2. 6	6. 3	8. 0	▲ 3.7	▲ 5.4
の推進	(3)市民協働の推進	▲ 10.2	▲ 8.0	▲ 11.0	▲ 2.2	0.8
0	(1)機動的で効率的な体制づくり	21. 6	28. 0	23. 3	▲ 6.4	▲ 1.7
2 効率的な都市 経営の運営	(2)市政を支える意欲と能力のある人づくり	▲ 2.1	▲ 1.1	▲ 10.7	▲ 1.0	8. 6
性日が注日	(3)健全な行財政運営	▲ 29.0	▲ 24.7	▲ 30.4	▲ 4.3	1.4
3 地方分権と広 域連携の推進	(1)地方分権の推進	▲ 23.8	▲ 16.1	▲ 15.6	▲ 7.7	▲ 8.2
	(2)広域連携の推進	▲ 14.9	▲ 12.2	▲ 14.3	▲ 2.7	▲ 0.6

4. まちづくりの推進姿勢別集計結果

1 市民協働によるまちづくりの推進

(今回調査の傾向)

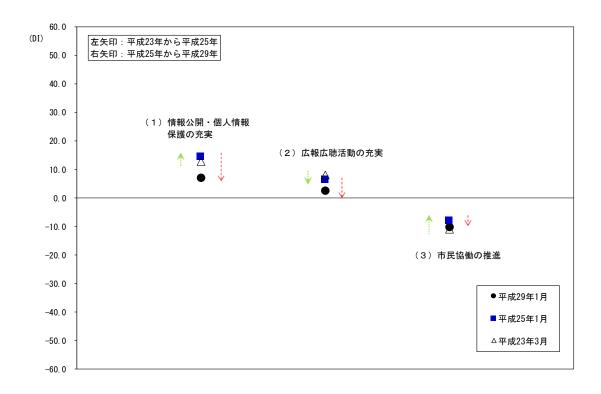
・3つの政策(中柱)の中では、これまでの調査結果の傾向と同様「(3)市民協働の推進」 のみ DI がマイナスとなっている。

(前回調査との比較)

・3つの政策(中柱) すべてで DI 値が低下した。中でも「(1) 情報公開・個人情報保護の充実」のマイナス幅が 7.5 ポイントで大きくなっている。

(図表vii-8 「1 市民協働によるまちづくりの推進」に対する市民の実感)

									(ポイント)
政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	①感じる + ②やや感じる(a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない + ⑤感じない(b)	DI (a)–(b)	前回比 29-25	前々回比 29-23
/ 4 \ 桂 切 八 田	必要とする情報や市 役所の活動状況が積	平成29年1月	623	36. 3	34. 5	29. 2	7. 1		
(1)情報公開・ 個人情報保護 の充実	極的に公開されてい る。また、個人情報	平成25年1月	715	39. 6	35. 4	25. 0	14. 6	▲ 7.5	▲ 5.6
W/1.X	の適切な管理が行われている。	平成23年3月	689	40. 3	32. 1	27. 6	12. 7		
	すべての市民に分か りやすいにいいる。 行われていの市民が た、多を聞る。 意見を置れている 意見を まが適切 いる。	平成29年1月	688	36. 3	29. 9	33. 7	2. 6		
(2)広報広聴活動 の充実		平成25年1月	771	37. 4	31. 5	31. 1	6. 3	▲ 3.7	▲ 5.4
		平成23年3月	763	38. 0	32. 0	30.0	8. 0		
	市民なが行うな場合では、おいまでは、からは、おいまでは、からのでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、ないない。では、ないないない。というでは、ないないない。	平成29年1月	562	25. 4	39. 0	35. 6	▲ 10.2		
(3)市民協働の 推進		平成25年1月	636	24. 5	42. 9	32. 5	▲ 8.0	▲ 2. 2	0.8
		平成23年3月	623	23. 8	41.4	34. 8	▲ 11.0		



2 効率的な都市経営の推進

(今回調査の傾向)

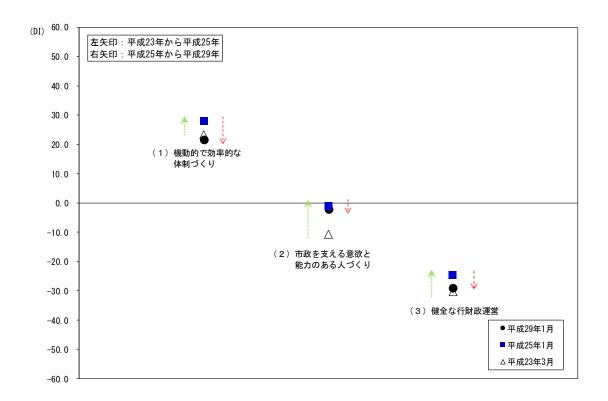
・まちづくりの推進姿勢に体系づけられた8つの政策(中柱)の中で、「(1)機動的で効率的な体制づくり」のDI値が最も高い。一方で、「(3)健全な行財政運営」のDI値が最も低く「2 効率的な都市経営の推進」を構成する政策(中柱)間で実感に大きな差が生じている。

(前回調査との比較)

・3つの政策(中柱)すべてでDIがマイナスとなった。このうち、「(1)機動的で効率的な体制づくり」は、前回調査から5ポイント以上低下した。

(図表vii-9 「2 効率的な都市経営の推進」に対する市民の実感)

				(ポ					
政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	①感じる + ②やや感じる(a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない + ⑤感じない(b)	DI (a)-(b)	前回比 29-25	前々回比 29-23
/ a \ 146 \$1 46 ~ \$1 \$5	対応が迅速で、利用 しやすい市役所に	平成29年1月	713	48. 4	24. 8	26. 8	21. 6		
りり	なっている。また、 情報システムの利用	平成25年1月	816	53. 1	21. 8	25. 1	28. 0		▲ 1.7
	により手続き等が便 利になっている。	平成23年3月	779	49. 6	24. 1	26. 3	23. 3		
(a) + Th + + = 7	市の職員は、市民や市の将来のために熱意を持って働いてい	平成29年1月	654	34. 3	29. 4	36. 4	▲ 2.1		
(2)市政を支える 意欲と能力の ある人づくり		平成25年1月	747	32. 9	33. 1	34. 0	▲ 1.1	▲ 1.0	8. 6
3,0,1,1	ే ం	平成23年3月	740	30. 5	28. 2	41. 2	▲ 10.7		
	事業の見直しなど、 行財政改革が適切に	平成29年1月	603	16.9	37. 1	45. 9	▲ 29.0		
(3)健全な行財政 運営	行われ、将来に不安 のない健全な都市経 営が進められてい る。	平成25年1月	663	17. 5	40. 3	42. 2	▲ 24. 7	▲ 4.3	1. 4
		平成23年3月	672	17. 4	34. 8	47.8	▲ 30.4		



3 地方分権と広域連携の推進

(今回調査の傾向)

・構成する2つの政策(中柱)のいずれも DI のマイナス値が大きく、特に「(1)地方分権の推進」は、まちづくりの推進姿勢に体系づけられたすべての政策(中柱)の中で、 DI のマイナス幅が大きく、実感が得られていない状況にある。

(前回調査との比較)

・構成する2つの政策(中柱)は、いずれも前回調査からDIがマイナスとなっており、特に「(1)地方分権の推進」のマイナス幅が▲7.7ポイントと大きくなっている。

(図表vii-10 「3 地方分権と広域連携の推進」に対する市民の実感)

										(ポイント)
	政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	①感じる + ②やや感じる(a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない + ⑤感じない(b)	DI (a)–(b)	前回比 29-25	前々回比 29-23
横須賀ならではの取り組みが充実し、都市としての自立性が高まっている。また、住民が主体的に	平成29年1月	667	20. 4	35. 4	44. 2	▲ 23.8				
		平成25年1月	721	22. 9	38. 1	39. 0	▲ 16.1	▲ 7.7	▲ 8.2	
	地域づくりに参画している。		平成23年3月	690	24. 5	35. 4	40. 1	▲ 15.6		
(2)広域連携の 推進 観光分野や日常生活 に関連する課題に対 して、近隣自治体や 他地域の都市との協 力や連携による取り 組みが進められてい る。	平成29年1月	606	25. 7	33. 7	40. 6	▲ 14.9				
	他地域の都市との協	平成25年1月	654	26. 5	34. 9	38. 7	▲ 12. 2	▲ 2.7	▲ 0.6	
		平成23年3月	633	25. 8	34. 1	40. 1	▲ 14.3			

V. 基本的な属性 (F1~F6)

※各構成比(%)は無回答を除いて算出

1. 性別(F 1)

	件数			構成比(%)		
項目		平成29年	平成25年	平成23年	増減	増加
	(人)	1月	1月	3月	29-25	29-23
全体	843	_	_	_	_	_
男性	359	43.2	41.8	42.4	1.4	0.8
女性	472	56.8	58.2	57.6	▲ 1.4	▲ 0.8
無回答	12	_	_	_	_	_

2. 年齢(F2)

	件数		構成比(%)						
項目	(人)	平成29年	平成25年	平成23年	増減	増加			
	()()	1月	1月	3月	29-25	29-23			
全体	843	_	_	_	_	_			
15-19歳	32	3.8	3.7	4.3	0.1	▲ 0.5			
20-24歳	35	4.2	3.1	3.5	1.1	0.7			
25-29歳	33	4.0	5.3	3.9	▲ 1.3	0.1			
30-34歳	41	4.9	5.5	5.7	▲ 0.6	▲ 0.8			
35-39歳	61	7.3	7.5	9.3	▲ 0.2	▲ 2.0			
40-44歳	64	7.7	7.8	8.1	▲ 0.1	▲ 0.4			
45-49歳	71	8.5	8.0	6.7	0.5	1.8			
50-54歳	66	7.9	9.1	7.6	▲ 1.2	0.3			
55-59歳	81	9.7	9.8	10.7	▲ 0.1	▲ 1.0			
60-64歳	60	7.2	9.4	9.8	▲ 2.2	▲ 2.6			
65-69歳	110	13.2	10.3	11.0	2.9	2.2			
70-74歳	107	12.8	11.6	11.6	1.2	1.2			
75歳以上	72	8.6	9.0	7.8	▲ 0.4	0.8			
無回答	10	_	_	_	_	_			

3. 居住地域 (F3)

	件数	構成比(%)						
項目	(人)	平成29年	平成25年	平成23年	増減	増加		
	(人)	1月	1月	3月	29-25	29-23		
全体	843				_	_		
本庁地域	127	15.3	13.9	14.3	1.4	1.0		
追浜地域	73	8.8	8.4	7.7	0.4	1.1		
田浦地域	47	5.6	5.3	4.6	0.3	1.0		
逸見地域	17	2.0	2.2	2.6	▲ 0.2	▲ 0.6		
衣笠地域	120	14.4	12.5	13.2	1.9	1.2		
大津地域	84	10.1	10.6	11.5	▲ 0.5	▲ 1.4		
浦賀地域	93	11.2	12.9	12.0	▲ 1.7	▲ 0.8		
久里浜地域	121	14.5	15.0	15.8	▲ 0.5	▲ 1.3		
北下浦地域	67	8.1	7.7	6.6	0.4	1.5		
西地域	83	10.0	11.5	11.5	▲ 1.5	▲ 1.5		
無回答	11	_	_	_	_	_		

4. 職業(F4)

	件数	大大大学 大大学 大学 大						
項目	(人)	平成29年 1月	平成25年 1月	平成23年 3月	増減 29-25	增加 29-23		
全体	843			_	_	_		
農林漁業	1	0.1	0.4	0.1	▲ 0.3	0.0		
自営(商店・工務店・工場等)	20	2.4	1.6	1.9	0.8	0.5		
自営(サービス業)	23	2.8	2.6	2.1	0.2	0.7		
会社員·公務員 (事務職·専門職·管理職)	132	15.8	16.0	15.0	▲ 0.2	0.8		
会社員・公務員(販売/サービス)	75	9.0	7.5	8.4	1.5	0.6		
会社員·公務員 (保安·運輸/通信·建設/労務)	49	5.9	4.1	4.7	1.8	1.2		
自由業	7	0.8	1.5	1.1	▲ 0.7	▲ 0.3		
家事専業	142	17.0	18.1	19.1	▲ 1.1	▲ 2.1		
アルバイト・パートタイマー ・派遣社員	134	16.1	16.1	16.1	▲ 0.0	0.0		
学生	46	5.5	5.0	5.2	0.5	0.3		
無職	189	22.7	24.4	24.1	▲ 1.7	▲ 1.4		
その他	15	1.8	2.7	2.1	▲ 0.9	▲ 0.3		
無回答	10	_	_	_	_	_		

5. 世帯の状況 (F5)

	件数			構成比(%)		
項目	(人)	平成29年	平成25年	平成23年	増減	増加
	(人)	1月	1月	3月	29-25	29-23
全体	843		l	_	_	_
単身世帯(一人暮らし)	149	22.7	24.8	23.0	▲ 2.1	▲ 0.3
夫婦のみの世帯	230	35.0	_	_	_	_
小学生未満の子どもがいる	55	8.4		_	_	_
小学生~中学生の子どもがいる	79	12.0	_	_	_	_
65歳以上の高齢者がいる	165	25.1	24.8	23.0	0.3	2.1
無回答	186	_	_	_	_	_

[※]複数回答可のため総回答数843件と一致しない。無回答には回答項目に該当しない回答者を含む。

6. 市内居住年数 (F6)

	件数			構成比(%)		
項目	(人)	平成29年	平成25年	平成23年	増減	増加
	(人)	1月	1月	3月	29-25	29-23
全体	843	l	l	l	_	_
1年未満	12	1.4	1.5	1.2	▲ 0.1	0.2
1~3年	40	4.8	3.4	3.7	1.4	1.1
4~9年	51	6.1	5.3	7.3	0.8	▲ 1.2
10~14年	44	5.3	5.7	5.6	▲ 0.4	▲ 0.3
15~19年	58	7.0	8.5	7.6	▲ 1.5	▲ 0.6
20~24年	65	7.8	7.6	6.8	0.2	1.0
25年以上	563	67.6	68.0	67.8	▲ 0.4	▲ 0.2
無回答	10	_	_	_	_	_

- 69 -

調査票

I 横須賀の魅力について伺います

問1【横須賀の魅力について】

あなたにとって横須賀の魅力的なところは、どのようなところだと思いますか。次の選択肢から <u>順に3</u> <u>つまで</u>選んで回答欄に記入してください。

選択肢

- ① 教育や文化の水準が高い
- ② 子育てに対する支援が充実している
- ③ 高齢者、障害者などへの福祉が充実している
- ④ 道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である
- ⑤ 身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている
- ⑥ 犯罪が少なく、防災面も充実していて安心して暮らせる
- ⑦ 大都市に近く、通勤・通学に便利である
- ⑧ 仕事や収入の機会に恵まれている
- ⑨ 海や緑などの自然環境に恵まれている
- ⑩ 魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる
- ⑪ 観光資源や歴史的資産に恵まれている
- ⑫ 国際色が豊かである
- (13) 市民のマナーが良く、快適な生活ができる
- ⑭ 地域での人間関係がよい
- (15) その他(具体的にお書きください)

回答欄

1番目	2番目	3番目	「⑮その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

Ⅱ 横須賀への愛着やイメージについて伺います

問2【横須賀への愛着について】

あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じていますか。選択肢からあてはまるものを<u>1つだけ</u>選んで回答欄に記入してください。

選択肢				
① 感じる	② やや感じる	③ どちらともいえない	回答欄	
④ あまり感じない	⑤ 感じない	⑥ よくわからない		

問3【横須賀のイメージについて】

あなたが考える横須賀市のイメージについて、次の選択肢から<u>順に3つまで</u>選び、現在の都市イメージを 回答欄の「A欄」に、また、望ましい都市イメージを「B欄」にそれぞれ記入してください。

選択肢

- ① 外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」
- ② さまざまな分野の研究開発機関が集積する「ICT(情報通信技術)・先端技術のまち」
- ③ 芸術・文化活動が盛んな「文化芸術のまち」
- ④ 米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」
- ⑤ 防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」
- ⑥ 市外から多くの人が訪れる「観光・レジャーのまち」
- (7) 豊かな自然が残されている「自然環境に恵まれたまち」
- ⑧ 首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」
- ⑨ ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境にやさしいまち」
- ⑩ 道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利で快適なまち」
- ⑪ 健康づくりのための施設や医療機関が充実した「健康増進・医療福祉のまち」
- ② 高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心して暮らせるまち」
- (13) 保育所など子育て環境が充実した「子育てのまち」
- (4) 学校教育が充実した「教育のまち」
- ⑮ 農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」
- (16) 自動車産業などが盛んな「工業のまち」
- ⑪ 商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」
- (18) その他(具体的にお書きください)

於				
△欄	1番目	2番目	3番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書きください
(現在の都市イメージ)				
B欄	1番目	2番目	3番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書きください
	1番目	2番目	3番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書きください
B欄 (望ましい都市イメージ)	1番目	2番目	3番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

Ⅲ 公共交通の利便性について伺います

問4	【小土衣涌	(鉄道・バス	• タクシー)	の利便性について	ı
101 4			・ダンシー)	ひんかけせ けしこ ししょし	ı

あなたは、買い物や通勤・通学などで外出する際に、市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー)の利便性にいて、どのように感じていますか。それぞれの利便性に対する実感について、選択肢からあてはまるものを<u>1つだけ</u>選んで回答欄に記入してください。

(1)「鉄道」について利係	更性を感じています	か。		
	選択肢 ① 感じる ④ あまり感じない	② やや感じる	③ どちらともいえない	回答欄	
(2	?)「バス」について利復	更性を感じています	か。		
	選択肢 ① 感じる ④ あまり感じない		③ どちらともいえない	回答欄	
(3	3)「タクシー」について	こ 利便性を感じてい	ますか。		
	選択肢 ① 感じる ④ あまり感じない		③ どちらともいえない	回答欄	
あたらそ	されぞれあてはまるもの	含む日常の買い物を を <u>1つだけ</u> 選んで回	いて】 Eする場所へ徒歩で行く場合の所要 回答欄に記入してください。	要時間について、	選択肢か
(1		ますか。 			
	① 5分以内 ④ 15分~20分	② 5分~10分 ⑤ 20分~30分	③ 10分~15分 ⑥ 30分以上	回答欄	
(2	?)何分程度までであれ	ば許容できますか。			
	選択肢 ① 5分以内	② 5分~10分	③ 10分~15分	回答欄	

④ 15分~20分 ⑤ 20分~30分 ⑥ 30分以上

問6【最寄りの鉄道駅やバス停までの所要時間について】

あなたが住居を決める際、最寄りの鉄道駅やバス停までの徒歩での所要時間の許容範囲は何分程度ですか。 選択肢からあてはまるものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

選択肢				
① 5分以内	② 5分~10分	③ 10分~15分	回答欄	
④ 15分~20分	⑤ 20分~30分	⑥ 30 分以上		

Ⅳ 地域活動への参加状況について伺います

問7【地域活動への参加について】

あなたは、地域のまちづくり活動やボランティア活動、NPO活動に参加、参画していますか。 選択 肢からあてはまるものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

選択肢			
① はい	② いいえ	回答欄	

※選択肢①を選んだ方は、問フ-1へ進んでください。
選択肢②を選んだ方は、問フ-2へ進んでください。

問7-1【問7で①を選んだ方に伺います。】

あなたが参加、参画しているのはどのような活動ですか。

選択肢からあてはまるものを全て選んで回答欄に記入してください。

選択肢

- ① 地域のまちづくり活動(例:町内会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など)
- ② 自主的なボランティア活動(例:福祉や国際交流、環境美化、助け合い活動など)
- ③ 社会的課題の解決に向けて取り組むNPO(非営利組織)の活動 (例:環境保全、在宅介護支援、子どもの健全育成、国際協力、災害救援など)
- ④ その他(具体的にお書きください)

問7-2【問7で②を選んだ方に伺います。】

今後、これらの活動に参加、参画したいと思いますか。

(1)か(2)のうち、あてはまるものを<u>1つだけ</u>選んで回答欄1に記入した上で、それぞれの設問に答えてください。

(1) はい

⇒ それはどのような活動ですか。

選択肢からあてはまるものを全て選んで回答欄2に記入してください。

選択肢

- ① 地域のまちづくり活動(例:町内会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など)
- ② 自主的なボランティア活動(例:福祉や国際交流、環境美化、助け合い活動など)
- ③ 社会的課題の解決に向けて取り組むNPO(非営利組織)の活動 (例:環境保全、在宅介護支援、子どもの健全育成、国際協力、災害救援など)
- ④ その他(具体的にお書きください)

(2) いいえ

⇒ それはなぜですか。

選択肢からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んで回答欄2に記入してください。

選択肢 ① 興味はあるが、時間的余裕がない ② 興味はあるが、きっかけや情報がない ③ 興味がない ④ その他(具体的にお書きください) 回答欄1 ※(1) もしくは(2)

回答欄2 ・回答欄1で(1)を選んだ方

「④その他」	」を選んだが	がは、その内	容をお書き	<u> </u> ください		

回答欄1で(2)を選んだ方

「④その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

V 基地について伺います

問8【米軍基地について】

横須賀市内にある米軍基地について、どのようにお考えですか。選択肢からあなたのお考えに近 いものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

選択肢				
① あった方がよい	② やむを得ない	③ ない方がよい	回答欄	
④ どちらでもない	⑤ わからない			

※選択肢①②を選んだ方は、問8-1へ進んでください。 選択肢③を選んだ方は、問8-2へ進んでください。 選択肢④⑤を選んだ方は、問9へ進んでください。

問8-1【問8で①②を選んだ方に伺います。】

①②を選んだ理由について、選択肢からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んで回答欄に記入してく ださい。

選択肢

① 日本の安全上必要だから

- ② 地域の経済に貢献しているから
- ③ 国際協力、国際交流に役立っているから ④ 災害が起こった時に心強いから
- ⑤ その他(具体的にお書きください)

回答欄

「⑤その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

問8-2【問8で③を選んだ方に伺います。】

③を選んだ理由について、選択肢からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んで回答欄に記入してくだ さい。

選択肢

- ① 戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから
- ② 市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから
- ③ 横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから
- ④ 犯罪や事故が心配だから
- ⑤ その他(具体的にお書きください)

「⑤その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

問9【自衛隊基地について】

横須賀市内にある自衛隊基地について、どのようにお考えですか。選択肢からあなたのお考えに近 いものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

選択肢				
① あった方がよい④ どちらでもない	② やむを得ない⑤ わからない	③ ない方がよい	回答欄	

※選択肢①②を選んだ方は、問9-1へ進んでください。 選択肢③を選んだ方は、問9-2へ進んでください。

選択肢④⑤を選んだ方は、問 10へ進んでください。

問9-1【問9で①②を選んだ方に伺います。】

①②を選んだ理由について、選択肢からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んで回答欄に記入してく ださい。

選択肢

① 日本の安全上必要だから

- ② 地域の経済に貢献しているから
- ③ 国際協力、国際交流に役立っているから ④ 災害が起こった時に心強いから
- ⑤ その他(具体的にお書きください)

回答欄

「⑤その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

問9-2【問9で③を選んだ方に伺います。】

③を選んだ理由について、選択肢からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んで回答欄に記入してくだ さい。

選択肢

- ① 戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから
- ② 市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから
- ③ 横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから
- ④ 犯罪や事故が心配だから
- ⑤ その他(具体的にお書きください)

「⑤その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

Ⅵ 政策の優先度や市役所サービスへの満足度について伺います

横須賀市は、より一層の市民サービスの向上、個性豊かなまちづくりをめざし、さまざまな取り組みを行っています。市に対して思うこと、感じることについて次の設問にご回答ください。

問10【市役所サービス】

日々の暮らしに関わる市役所のサービスに対する、<u>あなたの「満足度」について</u>、選択肢から あてはまるものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

選択肢				
① 満足している ④ やや不満である	② ほぼ満足している ⑤ 不満である	③ どちらともいえない ⑥ わからない	回答欄	

問 11【市民相談について】

横須賀市では、市政に対する意見や要望のほかに、相続や離婚などの家庭問題、近隣トラブル、多重債務問題など日常生活で生じるさまざまな問題について、市民相談室を設けて相談に応じています。 あなたは、日常生活の困りごとなどを相談する場所として、市役所は利用しやすい場所だと思いますか。 選択肢からあてはまるものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

選択肢			
① 思う	② やや思う	③ どちらともいえない	④ あまり思わない
⑤ 思わない	⑥ わからない	⑦ その他(具体的にお書き	ください)
L			

「⑦その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

問 12【政策の優先度】

10年後、20年後の将来、横須賀市が着実に成長できる都市であるためには、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。次の選択肢から順に3つまで選んで回答欄に記入してください。

選択肢

- ① 観光施策の充実による集客の促進
- ② 定住の促進
- ③ 自然環境の保全・創出
- ④ 交通利便性の向上
- ⑤ 地域経済の振興と雇用の安定
- ⑥ 市街地のにぎわいづくり
- ⑦ 可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合
- ⑧ 子育て支援の充実
- 9 学校教育の充実
- ① 生涯学習の充実
- ⑪ 芸術・文化の振興
- ② スポーツ振興による地域の活性化
- ③ 障害者福祉
- (14) 高齢者福祉
- 15 健康づくり
- 16 町内会、自治会活動に対する支援
- ① 市民生活の安全・安心の向上
- ⑱ 都市基盤(道路・施設など)の整備
- (19) ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進
- ② 情報公開や広報活動の充実
- ② 市政への市民参加や住民自治の推進
- ② その他(具体的にお書きください)

1番目	2番目	3番目	「⑫その他」を選んだ方は、その内容をお書きください

Ⅶ 市の政策に対するあなたの実感について伺います

問 13 次の各項目について、あてはまるところにそれぞれ<u>1つずつ〇をつけて</u>ください。

【まちづくり政策の目標について】

	回答項				項目			
		質問項目	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
1 	1	【まちの魅力づくり】 市外からの集客につながる魅力的なイベントの開催や、定住 に結びつく取り組みが進められている。						
交流が広が	2	【魅力の発信】 市外からの集客につながる魅力やイベント情報の発信が積 極的に行われている。						
るまち	3	【交通網の整備】 近隣の都市とつながる道路や港湾の整備など、市民や事業 者、来訪者が利用しやすい交通網づくりが進められている。						
	1	【自然環境の保全・創出】 海や緑、川などの自然環境の保全、自然豊かな公園・緑地の 整備など、住んでいる人、訪れる人に潤いやゆとりを生むた めの取り組みが進められている。						
2 海と緑を生	2	【農水産業の振興】 農業や漁業が生産地としてだけではなく、観光などさまざま な場面で活用されている。						
かし	3	【新たな企業の誘致】 新たな企業・研究機関の進出や地域企業の活動に対する支援 が進められている。						
た活気あふれるまち	4	【雇用・労働環境の充実】 仕事に就くための支援が適切に行われている。また、勤労者 の労働環境を改善する取り組みが進められている。						
	5	【市街地のにぎわいと住環境の維持・保全】 商業施設や住居が駅など地域の拠点に集約され、魅力やにぎ わいが生まれている。一方、郊外の住宅団地などについては 良好な環境が保たれている。						
	6	【基地への対応】 現状を踏まえた中で、可能な限り米軍基地の返還や自衛隊施 設の集約・統合に向けた要請活動などが行われている。						

					回答	項目		
		質問項目	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
3	1	【出産、子育て支援】 子どもを産み育てやすく、また、子どもが健やかに育つ環境 づくりが進められている。						
個性豊か	2	【教育の充実】 子どもの「学力」「心」「体」がバランスよく育成されている。 また、英語、パソコンなどを活用した独自性のある教育が充 実している。						
な人と文化	3	【生涯学習の環境の充実】 生涯を通じて学びやスポーツ活動ができる、また、その活動 の成果を地域に還元できる環境づくりが進められている。						
が育つまち	4	【文化の継承、発展】 地域の伝統文化を含め、多様な文化が継承、創出されている。 また、優れた芸術文化に親しむ環境がある。						
	5	【魅力ある景観の保全・創出】 海や緑、歴史的な建造物などを生かした、横須賀らしい魅力 ある景観づくりが進められている。						
4	1	【平和と人権の尊重】 平和と人権が尊重される社会環境づくりが進められている。						
4 健康でや	2	【全ての人々に利用しやすい環境づくり】 誰もが、気軽に出かけたり、安心して利用できる施設づくり が進められている。また、さまざまな活動に参加できる環境 づくりが進められている。						
さしい心のふ	3	【地域福祉サービスの推進】 誰もが、その人らしく生活できるような福祉サービスが提供 されている。また、そのための人づくりや場づくりが進めら れている。						
いれあうまち	4	【健康づくり、医療体制づくり】 生涯を通じて心身ともに健康でいるための取り組みや、安心 して医療サービスを受けられる環境づくりが進められてい る。						
	5	【地域コミュニティへの支援】 町内会や自治会活動をはじめ、福祉や教育などさまざまなテーマの自主活動が活発に行われている。						

			回答項目							
		質問項目	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない		
5 安	1	【安心・安全なまちづくり】 公共施設の耐震化や市民による防災活動など危機管理の体制 が充実し、災害・緊急事態のときに不安を感じることのない まちづくりが進められている。								
全で快適	2	【安心・安全な日常生活づくり】 環境保全、消防・救急・救助、防犯、交通安全、消費者保護 など、安心して日常生活を送るための対策が進められている。								
安全で快適に暮らせる	3	【日常生活を支える基盤づくり】 水道、下水道、ごみ処理、道路・交通環境、公園、河川管理 など、市民の快適な暮らしを支える生活基盤づくりが適切に 進められている。								
まち	4	【地球温暖化対策】 温暖化対策など地球規模の問題に対して、市民、事業者、市 役所など、さまざまな主体による取り組みが進められている。								

【まちづくりの推進姿勢について】

					回答	項目		
		質問項目	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
1 市	1	【情報公開と個人情報保護】 必要とする情報や市役所の活動状況が積極的に公開されている。また、個人情報の適切な管理が行われている。						
まちづくりの民協働による	2	【広報・広聴活動】 全ての市民に分かりやすい広報活動が行われている。 また、多くの市民から意見を聞く活動やさまざまな相談への 対応が適切に行われている。						
の 推 進	3	【市民協働によるまちづくり】 市民や民間団体が行う公益的な活動への支援が適切に行われている。また、市の事業に市民や事業者が積極的に参画するなど、協働による取り組みが進められている。						

					回答	項目		
		質問項目	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
2 効 率 的	1	【迅速で、便利な市役所】 対応が迅速で、利用しやすい市役所になっている。また、情報システムの利用により手続き等が便利になっている。						
的な都市経営	2	【市政を支える意欲と能力のある職員の育成】 市の職員は、市民や市の将来のために熱意を持って働いている。						
2の推進	3	【健全な行財政運営】 事業の見直しなど、行財政改革が適切に行われ、将来に不安 のない健全な都市経営が進められている。						
3 地方公	1	【独自性のある市政運営と住民自治】 横須賀ならではの取り組みが充実し、都市としての自立性が 高まっている。また、住民が主体的に地域づくりに参画して いる。						
域連携の推進の推進	2	【他都市との連携による市政運営】 観光分野や日常生活に関連する課題に対して、近隣自治体や 他地域の都市との協力や連携による取り組みが進められてい る。						

あなた自身のことについて伺います

※記入もれがあると、いただいた回答が無効になってしまうことがあります。

分析に必要なデータですので、全員の方がお答えください。 次の各項目において、あなたにあてはまるものを選んでください。 F 1 <性別> ① 男性 ② 女性 回答欄 F 2 〈年齢〉 ① 15~19歳 ② 20~24歳 ③ 25~29歳 ④ 30~34歳 ⑤ 35~39 歳 ⑥ 40~44 歳 ⑦ 45~49 歳 ⑧ 50~54 歳 9 55~59歳 ⑩ 60~64歳 ⑪ 65~69歳 ⑫ 70~74歳 ③ 75 歳以上 回答欄 F3 〈お住まいの地域〉 (次ページに地域別一覧表があります。ご参照ください。) ① 本庁地域 ② 追浜地域 ③ 田浦地域 ④ 逸見地域 ⑤ 衣笠地域 ⑥ 大津地域 ⑦ 浦賀地域 ⑧ 久里浜地域 9 北下浦地域 10 西地域 回答欄 F 4 < 職業> ① 農林漁業 ② 自営(商店・工務店・工場等) ③ 自営(サービス業) ④ 会社員·公務員(事務職·専門職·管理職) ⑤ 会社員・公務員(販売/サービス) ⑥ 会社員·公務員(保安·運輸/通信·建設/労務) 7 白由業 8 家事専業 ⑨ アルバイト・パートタイマー・派遣社員 ① 学生 (1) 無職 12 その他 回答欄 F5 <世帯の状況(同居)> (複数回答可 ※①を選択した場合は他の選択肢を選択できません) ① 単身世帯(一人暮らし) ② 夫婦のみの世帯 ③ 世帯に小学生未満の子どもがいる ④ 世帯に小学生~中学生の子どもがいる ⑤ 世帯に65歳以上の高齢者がいる(ご自身を除く) ⑥ ①~⑤に該当なし 回答欄 F6 <横須賀市に住んでいる年数> ① 1年未満 ② 1~3年 ③ 4~9年 ④ 10~14年 ⑤ 15~19年 ⑥ 20~24年 ⑦ 25 年以上

≪調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。≫

地域別一覧表

(町名)	(地域別)
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、 佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、 日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、 緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町	①本庁地域
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、 鷹取、夏島町、浜見台	②追浜地域
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、 船越町、港が丘	③田浦地域
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町	<u>④逸見地域</u>
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、 小矢部、平作、森崎	⑤衣笠地域
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸	⑥大津地域
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀、 二葉、南浦賀、吉井	⑦浦賀地域
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、 佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台	8久里浜地域
粟田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘	<u> </u>
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、 須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台	⑩西地域

- 86 -

総合計画市民アンケート報告書

発行年月:平成29年(2017年)9月

編集·発行:横須賀市政策推進部政策推進課(都市政策研究所)

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

電話:046-822-8258 FAX:046-822-9285